

福沢諭吉研究文献年表（稿）

1959—1979（その2）

丸 山 信 編

A bibliography of the books, the essays and other writings on

YUKICHI FUKUZAWA, 1959-1979.

MAKOTO MARUYAMA

まえがき

本年表は、福沢諭吉研究年表稿（その1）に引続き、現在までの研究文献を一覧できるように企画したものであり、1959年から1979年までに公刊された文献である。文献番号でいうとNo. 1002からNo. 1742までの741点を収録する。これ以後より現在までのものは（その3）として、引続きまとめる予定である。文献の配列：刊行年月順に分け、同月の中はタイトルの五十音順、刊行年月の記載のないものは、その年の最初に配列した。文献が単行書の場合は、書名をゴチ印刷とした。

【参考文献】

- 1) 昭和女子大学近代文学研究室『近代文学研究叢書』5巻収録「福沢諭吉資料年表」昭和32年2月20日刊（慶応4年4月18日の記事から昭和32年2月3日の記事まで収録）
- 2) 丸山信編 『福沢諭吉とその門下書誌』富田正文監修 慶応通信 1970年5月刊
- 3) 昆野和七編 「福沢諭吉研究関係文献目録」—原則として昭和46年1月—48年12月まで—『福沢諭吉年鑑』1 福沢諭吉協会1974年8月刊、以後1986年刊『福沢諭吉年鑑』13まで連載、さらに、1994年刊『福沢諭吉年鑑』21まで丸山信連載刊行

1959年（昭和34）

- 1002 『父・福沢諭吉』 福沢大四郎 東京書房 昭34
- 1003 文明論之概略 北京編譯社訳 商務印書館 昭34
〈2月〉
- 1004 慶應義塾百年祭式典祝辞 新文明 昭34. 2
- 1005 好評の「福沢諭吉全集」 土橋俊一 三田評論 581号 昭34. 2
- 1006 独立自尊の人間教育—福沢諭吉先生の社会経済思想 高橋誠一郎 社会教育 14の2
昭34. 2
- 1007 福沢先生の道德教育論—明治十年代儒教主義教育政策批判紹介 渡辺徳三郎 仔馬 別冊（慶應義塾創立百年記念研究紀要） 昭34. 2
- 1008 福沢先生は生きている 高石真五郎 三田評論 581号 昭34. 2

- 1009 福沢百助の学風 上・下 阿部隆一 「福沢諭吉全集」 2, 3 巻付録 昭34. 2～4
- 1010 福沢諭吉漢学の師—白石照山先生のこと 今永正樹 「福沢諭吉全集」 2 巻付録 昭34. 2
- 1011 福沢諭吉と菊地寛 沢村三木男 三田評論 581号 昭34. 2
〈3 月〉
- 1012 福沢諭吉と大阪 小泉信三 新文明 昭34. 3
- 1013 福沢諭吉の「学問」について 笈田知義 関西大学文学論集 8の3 昭34. 3
〈4 月〉
- 1014 『世界国盡』こぼればなし 富田正文 「福沢諭吉全集」 3 巻付録 昭34. 4
- 1015 『帳合之法』の原本について 西川孝治郎 「福沢諭吉全集」 3 巻付録 昭34. 4
- 1016 福沢先生の長崎留学 渡辺庫輔 「福沢諭吉全集」 3 巻付録 昭34. 4
〈5 月〉
- 1017 福沢諭吉 遠山茂樹 『日本歴史大辞典』16巻 44頁 河出書房新社 昭34. 5
- 1018 諭吉と卯吉への一考察—明治初期自由主義の限界 塚谷晃弘 日本歴史 131号 昭34. 5
〈6 月〉
- 1019 『学問のすゝめ』とウェーランドの『修身論』 板倉卓造 「福沢諭吉全集」 4 巻付録 昭34. 6
〈8 月〉
- 1020 消滅した鉄砲洲 木村毅 「福沢諭吉全集」 5 巻付録 昭34. 8
- 1021 人の上に人を造らず—福沢諭吉とジェファソンとの思い出 高木八尺 「福沢諭吉全集」 5 巻付録 昭34. 8
〈10月〉
- 1022 芝新銭座とその周辺 武田勝蔵 「福沢諭吉全集」 6 巻付録 昭34. 10
- 1023 福沢史学について 松本芳夫 「福沢諭吉全集」 6 巻付録 昭34. 10
- 1024 福沢諭吉と岡倉天心—九鬼隆一をめぐる両者の立場について 伊藤正雄 甲南大学文学会論集 10号 昭34. 10
- 1025 福沢諭吉における教育思想—日本における近代市民形成過程の特殊性 杉本雅子 日本史研究45 昭34. 10～12
- 1026 諭吉・鑑三・漱石の思想 室田泰一 岐阜タイムズ 昭34. 10. 15
〈11月〉
- 1027 『西洋事情』版本について 河北展生 史学 32の3 昭34. 11
- 1028 福沢先生と焼鳥 三宅三郎 新文明 9の11 昭34. 11
- 1029 福沢諭吉の書物問屋組合加入に関する資料 会田倉吉 史学 32の3 昭34. 11
〈12月〉
- 1030 ウェーランド経済書 三辺清一郎 「福沢諭吉全集」 7 巻付録 昭34. 12

1960年（昭和35）

- 1031 The autobiography Fukuzawa Yukichi (New translation) By Yukichi Fukuzawa, translated by Eiichi Kiyooka, Tokyo, Hokuseido Press, 1960
- 1032 Encouragement of learning, the first essay 1872 By Yukichi Fukuzawa, translated by Eiichi Kiyooka Tokyo, Keio University, 1960
- 1033 Fukuzawa Yukichi ; member of Japan's First Envoy to America becomes Contribute to Vast Renovation of Nation, by Aida Kurakichi Japan Magazine vol. 3, no. 2, 1960
- 1034 憲政党内閣成立前後に於ける福沢諭吉の政論について 池内啓 福井大学学芸学部紀要 III・社会科学 10号 昭35
- 1035 『福沢諭吉』 松島栄一 講談社 昭35
〈1月〉
- 1036 帝室論 小泉信三 文芸春秋 38の1 昭35. 1（のち富田正文編『明治文学全集 福沢諭吉集』筑摩書房に収録）
〈2月〉
- 1037 学問のすゝめ 家永三郎 「世界名著大事典」1巻 467頁 平凡社 昭35. 2
- 1038 福沢諭吉と「学問ノスゝメ」 「玉川百科大辞典 〈教育・学校〉」11巻 413～414頁 昭35. 2
- 1039 三田購入と島原藩 野村兼太郎 「福沢諭吉全集」8巻付録 昭35. 2
〈3月〉
- 1040 『学問のすゝめ』における自由と独立 伊藤四三九 愛知学芸大学研究報告 9 昭35. 3
- 1041 福沢諭吉の『改暦弁』について 岡田芳朗 早稲田大学教育学部 昭35. 3
〈4月〉
- 1042 『旧藩情』の英訳について 富田正文 「福沢諭吉全集」9巻付録 昭35. 4
- 1043 『万国海律全書』と福沢諭吉 大久保利謙 「福沢諭吉全集」9巻付録 昭35. 4
- 1044 福沢先生と長沼事件 大木忠雄 「福沢諭吉全集」9巻付録 昭35. 4
- 1045 福沢先生の三つの書翰—中村道太のことども 高垣寅次郎 「福沢諭吉全集」9巻付録 昭35. 4
- 1046 『文明論之概略』における歴史観の問題 河端春雄 新文明 10の4 昭35. 4
- 1047 明治の日本誕生論—明治初期の立憲論 秋山謙蔵 新文明 10の4 昭35. 4
〈5月〉
- 1048 大阪の福沢諭吉と適塾 浦上五六 三田評論 587号 昭35. 5
〈6月〉
- 1049 赤穂不義士論と楠公権助論の由来について—福沢諭吉と荻生徂来 伊藤正雄 「福沢諭吉全集」10巻付録 昭35. 6

- 1050 黒船渡来と福沢諭吉—『西洋事情』と『民情一新』の背景を探る 秋山謙蔵 新文明
10の6 昭35.6
- 1051 福沢諭吉と聖書 都田恒太郎 「福沢諭吉全集」10巻付録 昭35.6
- 1052 『文明論之概略』とキゾーの文明史 小沢栄一 日本歴史 144号 昭35.6
- 1053 三田演説館 昆野和七 「福沢諭吉全集」10巻付録 昭35.6
- 1054 箕作秋坪と福沢諭吉 板沢武雄 「福沢諭吉全集」10巻付録 昭35.6
- <7月>
- 1055 咸臨丸の渡米と福沢先生 会田倉吉 三田評論 588号 昭35.7
- 1056 福沢先生に対する告発文書 富田正文 三田評論 588号 昭35.7
- 1057 福沢諭吉先生と豊橋一とくに中村道太について 小山喜久弥 名城商学 10の1 昭
35.7～9
- 1058 福沢諭吉と国語の問題 上・下 伊藤正雄 言語生活 106号～107号 昭35.7～8
- 1059 福沢諭吉における政治と教育—明治十年代の文教政策批判と対策 牧野吉五郎 教育学
研究 27の3 昭35.7
- <8月>
- 1060 時事新報創刊時の地位 西田長寿 「福沢諭吉全集」11巻付録 昭35.8
- 1061 福沢諭吉の政治思想を考えるに就て 潮田江次 「福沢諭吉全集」11巻付録 昭35.8
- <9月>
- 1062 『学問のすゝめ』初編講説—福沢諭吉の本質を探る 伊藤正雄 甲南大学文学会論集
12号 昭35.9
- <10月>
- 1063 咸臨丸とブルック日誌 清岡暎一 「福沢諭吉全集」12巻付録 昭35.10
- <11月>
- 1064 三田演説館の福沢先生の肖像画の由来 中村精 三田評論 590号 昭35.11
- <12月>
- 1065 福沢諭吉 和田義郎 「福沢諭吉全集」13巻付録 昭35.12
- 1066 福沢諭吉と共和主義 家永三郎 「福沢諭吉全集」13巻付録 昭35.12
- 1067 文明史と福沢諭吉 小沢栄一 「福沢諭吉全集」13巻付録 昭35.12
- 1068 幼稚舎 吉田小五郎 「福沢諭吉全集」13巻付録 昭35.12

1961年(昭和36)

- 1069 福沢先生誕生記念会展示資料目録 昭和36年1月10日以降昭和43年まで 慶應義塾塾史
編纂所 昭36～43
- <2月>
- 1070 活字本『西洋事情』 河北展生 「福沢諭吉全集」14巻付録 昭36.2
- 1071 福沢の倫理—落葉のはきよせ 嘉治隆一 「福沢諭吉全集」14巻付録 昭36.2

- 1072 福沢諭吉の自由論—明六社会談論筆記に見えたる 石井良介 「福沢諭吉全集」14巻付録 昭36. 2
〈3月〉
- 1073 「国民の職分」にかんする若干の考察—思想史の問題点 田中明 三田学会誌 54の3 昭36. 3
〈4月〉
- 1074 重荷がかかりすぎ福沢諭吉について 三枝博音 「福沢諭吉全集」15巻付録 昭36. 4
- 1075 東京学士会と福沢諭吉 大久保利謙 「福沢諭吉全集」15巻付録 昭36. 4
- 1076 福沢先生の文章論—塾外者として福沢先生から何を学んだか 上・下 伊藤正雄 三田評論 593号～594号 昭36. 4～5
- 1077 福沢門下の政治家たち 中村菊男 「福沢諭吉全集」15巻付録 昭36. 4
- 1078 福沢諭吉の帝室論 岩瀬昌登 大阪大学紀要・人文科学 9号 昭36. 4～6
〈5月〉
- 1079 福沢先生書翰目録 五十音順 福沢全集編纂所 昭和36年5月現在 [新資料収録]
〈6月〉
- 1080 交詢社私擬憲法草案について 鈴木安蔵 「福沢諭吉全集」16巻付録 昭36. 6
- 1081 福沢門下の財界人について—中上川彦次郎と荘田平五郎 土屋喬雄 「福沢諭吉全集」16巻付録 昭36. 6
- 1082 婦人論の生命 青山なほ 「福沢諭吉全集」16巻付録 昭36. 6
- 1083 福沢諭吉と西周 鹿野政直 国文学 6の11 昭36. 7～9
〈7月〉
- 1084 福沢諭吉と拝金宗 横浜礼吉 新文明 11の7 昭36. 7
〈8月〉
- 1085 福沢の筆に投影したウェーランドの「経済論」 伊藤正雄 甲南大学文学会論集 15号 昭36. 8
- 1086 福沢諭吉の教育論について 石坂富司 日本歴史 158号 昭36. 8
〈11月〉
- 1087 福沢先生をめぐる外国人たち 会田倉吉 「福沢諭吉全集」17巻付録 昭36. 11
- 1088 福沢諭吉先生研究参考文献稿 丸山信 塾友 昭36. 11
- 1089 福沢先生と生命保険事業 昆野義平 「福沢諭吉全集」17巻付録 昭36. 11
- 1090 福沢諭吉と蘭学事始 内山孝一 「福沢諭吉全集」17巻付録 昭36. 11
〈12月〉
- 1091 香川版 『学問のすゝめ』 会田倉吉 史学 34の2 昭36. 12

1962年（昭和37）

- 1092 FUKUZAWA YUKICHI Grand Larousse encyclopedique. tome 5. p 298 c1962

- 1093 “K voprosu ob obshchestvenno-politicheskikh vsgliadakh Fukudsava Ūkitit v 70-ê gody XX veka”, Bugaeca D. P. Uchenye zapiski. Leningradskogo Ordena Lenina Gosudarstvennogo Universiteta imeni A. A. Zhodanova. no. 304. Vostochnyi Fakul'tet. Seriia Universiteta, 1962. [ヴザェヴァ, D. P 19世紀70年代の福沢諭吉の社会政治観の問題について] レニングラード大学東洋部紀要№304
- 1094 越南最早の民族民主文化革命運動—東京義塾運動 越青著 李亜 訳 歴史研究 (中国) 昭37
- 1095 福沢諭吉と唯物観 大内兵衛 エコノミスト 12の18 昭37 (のち『高い山—人物アルバム』岩波書店 昭38.10に収録)
- 〈1月〉
- 1096 福沢先生と三田演説会 高石真五郎 三田評論 601号 昭37. 1
- 1097 福沢諭吉 (民主教育の光をかけた人びと11) 小松周一 教育評論 121号 昭37. 1 ~ 3
- 1098 福沢諭吉全集「書翰集」について 柳田泉 図書 149号 昭37. 1
- 〈2月〉
- 1099 『西洋事情』の福沢思想史における重要性—特にチェンバース『経済読本』の翻訳について 伊藤正雄 新文明 12の2~5 昭37. 2~5
- 1100 福沢のモラルとウェーランドの『修身論』—主として『学問のすゝめ』および『中津留別の書』の典拠に関する一研究 伊藤正雄 甲南大学文学会論集 17号 昭37. 2
- 1101 福沢諭吉と明治初年の学界 大久保利謙 三田評論 602号 昭37. 2
- 〈3月〉
- 1102 福沢諭吉全集「書翰集」 伊藤正雄 三田評論 603号 昭37. 3・4
- 〈4月〉
- 1103 福沢諭吉—西欧文明の推進者 鹿野政直 朝日ジャーナル 4の15 昭37. 4.15
- 〈5月〉
- 1104 「思想の科学」天皇制特集号をよんで 太田雅夫 同志社法学 71号 (14の1) 昭37. 5
- 1105 福沢先生の乳母車 清岡暎一 「福沢諭吉全集」18巻付録 昭37. 5
- 〈6月〉
- 1106 『会議弁』の刊年について 伊藤正雄 新文明 12の6 昭37. 6
- 1107 福沢諭吉 小林秀雄 文芸春秋 昭37. 6 (のち『考へるヒント』昭39. 5に収録)
- 〈7月〉
- 1108 『福翁自伝』1~4 小泉信三 新文明 12の7~10 昭37. 7~10
- 〈8月〉
- 1109 『会議弁』の刊年について—明治7年と断定するのはまだ早い 土橋俊一 新文明 12の8 昭37. 8

- 1110 福沢の文章に対する現代学生の読解力について 伊藤正雄 新文明 12の8 昭37.8
 <11月>

- 1111 中国における福沢諭吉の影響 和田博徳 「福沢諭吉全集」19巻付録 昭37.11

- 1112 福沢諭吉の歴史観—「民情一新」と「旧藩情」 小泉信三 新文明 12の11 昭37.11

- 1113 『洋兵明鑑』と『英国議事院談』の原拠本 太田臨一郎 「福沢諭吉全集」19巻付録
 昭37.11

1963年（昭和38）

- 1114 FUKUZAWA YUKICHI The Encyclopedia Americana. vol. 12 p.151 c1963

- 1115 FUKUZAWA YUKICHI Encyclopedia Britanica. vol. 9 p.908 c1963

<1月>

- 1116 福沢諭吉明治開化期における文明史観の問題—特に『文明論之概略』を中心として 荒
 川久寿男 神道学36号 昭38.1

<3月>

- 1117 中津藩の研究—福沢諭吉 桧垣元吉 史淵 88号 昭38.3

- 1118 福沢諭吉書簡集の完成 小泉信三 日本学士院紀要 21の1 昭38.3

- 1119 明治の歴史観と福沢翁（随想） 大類伸 歴史教育 11の3 昭38.3

<4月>

- 1120 福沢諭吉における文明論の構造—近代日本文化論の系譜 1 土方和雄 高千穂論叢
 37の1 昭38.4

<6月>

- 1121 慶應義塾大学〈大学の庭16〉 永井道雄 朝日ジャーナル 5の25 昭38.6.23

- 1122 福沢心訓七則は偽作である 富田正文 「福沢諭吉全集」20巻付録 昭38.6

- 1123 福沢諭吉全集第17・18巻「書翰集」について 柳田泉 「福沢諭吉全集」20巻付録 昭
 38.6

- 1124 福沢諭吉と北里柴三郎 大鳥蘭三郎 「福沢諭吉全集」20巻付録 昭38.6

- 1125 丸山作楽と福沢諭吉—神祇官問題・民権論・立憲思想等を中心として 阪本健一 國學
 院雑誌 64の5～6 昭38.6

<9月>

- 1126 Imperial family theory by Shinzo Koizumi. Japan Times. 13rd Sept., 1963

- 1127 『福沢諭吉の人と思想』 家永三郎編集・解説 筑摩書房 昭38.9（現代日本思想大
 系 2）目次：I. 福沢の思想形成—福翁自伝1，福翁百余話1，福翁自伝2 II，
 学問観—学問のすゝめ（抄），福翁百余話2，III，文明観・社会観—文明論之概略
 （抄），福翁百話1，2，覚書，福翁百話3，IV. 家族制度改革論—日本婦人論，福
 翁百話4，福翁百余話3，一太郎宛書簡，V. 資本主義観—時事新報評論，福沢諭吉
 研究参考文献，年譜

- 1128 諭吉雑感 小松茂美 「現代日本思想大系」 2 卷月報 4 昭38. 9
1129 諭吉と政商 揖西光速 「現代日本思想大系」 2 卷月報 4 昭38. 9
〈10月〉

- 1130 福沢諭吉書簡集 小泉信三 心 16の10 昭38.10
1131 明六雑誌における福沢諭吉 佐藤直助 上智史学 8号 昭38.10

1964年 (昭和39)

- 1132 FUKUZAWA YUKICHI Japan biographical encyclopedia, and who's who. p
192 The Rengo Press, 1964
1133 FUKUSAWA JUKITSCHI Das Grosse Duden-Lexikon. Bd. 3 p 329-330 1964
1134 **The Japanese enlightenment : a study oh the writings of Fukuzawa Yukichi**
By Carmen Blacker Cambridge Unversity Press, 1964

〈2月〉

- 1135 我観福沢諭吉 グレグ・M. シンクレー 「福沢諭吉全集」 21巻付録 昭39. 2
1136 『人間・福沢諭吉』 松永安左エ門 実業之日本社 昭39. 2
1137 一人の Philosopher カルメン・ブラッカー 「福沢諭吉全集」 21巻付録 昭39. 2. 20
1138 福沢の印章について 富田正文 「福沢諭吉全集」 21巻付録 昭39. 2. 20
1139 福沢諭吉とその時代 エドウィン・O. ライシャワー 「福沢諭吉全集」 21巻付録 昭
39. 2
1140 封建主義は親の敵 〈座談おぼえ書き 6〉 小泉信三 文芸春秋 昭39. 2

〈3月〉

- 1141 福沢先生とスポーツ 〈座談おぼえ書き 7〉 小泉信三 文芸春秋 昭39. 3

〈4月〉

- 1142 福沢先生と日本文明 小泉信三 慶應義塾編『福沢諭吉とその周辺』 昭39. 4
1143 『福沢諭吉書誌』 富田正文 大塚巧芸社 昭和39. 4
1144 「福沢諭吉全集」 完成記念福沢諭吉展出品目録 慶應義塾編 昭39. 4. 7~12 日本橋
三越本店

〈5月〉

- 1145 全集完結後の福沢新資料 富田正文 三田評論 626号 昭39. 5
1146 福沢先生の法典論 田中実 三田評論 626号 昭39. 5
1147 「福沢諭吉全集」 完成記念福沢先生展覧会出品目録 慶應義塾塾史編纂所 昭39. 5. 12
~16 於慶應義塾図書館記念室
1148 「福沢諭吉全集」の読者 富田正文 図書 177号 昭39. 5
1149 福沢諭吉と実学の思想 沢田允茂 三田評論 626号 昭39. 5
1150 福沢諭吉の女学論 村井実 三田評論 626号 昭39. 5

〈6月〉

- 1151 福沢先生の書翰—「福沢諭吉全集」の完成を祝う 武田勝蔵 新文明 14の6 昭39.6
 <7月>
- 1152 福沢諭吉と二つの解放 上・下 小泉信三 新文明 14の7～8 昭39.7～8
 <9月>
- 1153 維新における福沢の選択 藤田省三 三田新聞 1020号 昭39.9.16
 <10月>
- 1154 Fukuzawa Yukichi by Shinzo Koizumi. Japan Quarterly, vol. 11, no. 4., 1964
 Oct./Dec. pp 486-493.
- 1155 福沢先生の精神と事業 下田次郎 教育学術界 14の1 昭39.10
 <11月>
- 1156 内田弥八の碑 会田倉吉 史学 37の3 昭39.11
- 1157 『学問のすゝめ』三編講説 伊藤正雄 甲南大学文学会論集 24号 昭39.11
- 1158 福沢の科学主義—実説樗陰と実彦 木佐木勝 日本読書新聞 715～783号 昭39.11.14
- 1159 福沢諭吉と英書 会田倉吉 日本英学史研究会研究報告 6号 昭39.11
- 1160 幼稚舎々史資料同窓生伝記並に著作目録 創立九十周年記念舎史資料展示会 慶應義塾
 幼稚舎 昭39.5.11～24
 <12月>
- 1161 福沢資料を探して 富田正文 日本古書通信 29の12 昭39.12
- 1162 福沢諭吉と北里柴三郎 上・下 小泉信三 新文明 14の12, 15の1 昭39.12～40.1
- 1163 福沢諭吉の政体論—覚書「福沢諭吉の政治学」のうち 潮田江次 法学研究 37の12
 昭39.12

1965年（昭和40）

- 1164 福沢のみた明治維新 中山一義 慶應義塾大学大学院研究科紀要 5号 昭40
 <2月>
- 1165 学問のすゝめ 岩井忠熊 「世界大百科事典」4巻 315～316頁 平凡社 昭40.2
- 1166 慶應義塾の洋学の伝統 会田倉吉 三田評論 635号 昭40.2
- 1167 日本啓蒙主義の凋落—福沢諭吉の変貌 ひろた・まさき 史林 47の6 昭40.2
 <3月>
- 1168 海外にある福沢先生の写真 佐志伝 三田評論 636号 昭40.3
- 1169 試論・文学とは何か—福沢諭吉を手がかりとして 谷口巖 北海道学芸大学函館人文学
 会・人文研究 25号 昭40.3
- 1170 福沢諭吉とナショナリズム—智徳の弁〈近代日本を創った100人〉 中村光夫 中央公
 論 昭40.3
- 1171 福沢諭吉と明治維新政変 小泉信三 新文明 15の3 昭40.3
- 1172 福沢諭吉の天皇観—明治前期の天皇制思想 太田雅夫 同志社大学社会科学 1の1

昭40. 3

1173 福沢諭吉「文学会員に告ぐ」（明治16年） 柳田泉著 『明治初期の文学思想』上巻
444～448頁 春秋社 昭40. 3

1174 明治十年以前の文学思想 1 福沢諭吉 柳田泉著 『明治初期の文学思想』上巻
235～250頁 春秋社 昭40. 3

<4月>

1175 福沢諭吉『文明論之概略』一名著，その人と時代 1 加藤周一 エコノミスト 43の
14 昭40. 4

<5月>

1176 福沢諭吉と丸善仕立局 学燈 62の5 昭40. 5

<6月>

1177 慶應義塾とベトナムの東京義塾 和田博徳 三色旗 昭40. 6

1178 福沢先生に近づくために 富田正文 塾 3の3 昭40. 6

1179 福沢の『学問のすゝめ』 小泉信三 心 昭40. 6

1180 福沢諭吉（1834-1901）「明治人物逸話辞典」下巻 276-281頁 森銑三編 東京堂 昭
40. 6

1181 福沢諭吉にみる国民意識の構造—明治7年前後 越智昇 愛媛大学紀要・人文科学 10
（B）号 昭40. 6

<8月>

1182 三田演説会のこと 佐志伝 三田評論 640号 昭40. 8

1183 三田演説館について 会田倉吉 三田評論 640号 昭40. 8

<10月>

1184 ピーター帝と福沢 小泉信三 文芸春秋 昭40.10

1185 福沢先生関係資料図書館所蔵古刊本展覧会目録 於慶應義塾図書館 昭40.10. 6～8

<11月>

1186 『学問のすゝめ』四編講説 伊藤正雄 甲南大学文学会論集 28号 昭40.11

1187 『福翁自伝』 家永三郎 「世界名著大事典」5巻 312頁 平凡社 昭40.11

1188 独立自尊（豆百科） 会田倉吉 塾 3の6 昭40.12

<12月>

1189 日本の近代化と慶應義塾—三田演説館開館九十周年記念 小泉信三 塾 3の6 昭
40.12

1190 山本権兵衛伯と福沢諭吉先生 小泉信三 新文明 15の12 昭40.12

1966年（昭和41）

1191 **The autobiography of Fukuzawa Yukichi By Yukichi Fukuzawa, with a fore-
word by Carmen Blacker. Columbia University Press, 1966**

- 1192 Yukichi Fukuzawa and modernization of Japan by Shinzo Koizumi. translated by Yamauchi Takeo. Compiled by Japan Socity of Promotion for Science, Philosophical Studies of Japan. vol. 7, 1966

<1月>

- 1193 西郷隆盛と福沢諭吉 坂元盛秋 PHP 212号 昭41. 1

<2月>

- 1194 福沢諭吉誕生地記念碑（口絵） 三田評論 646号 昭41. 2

- 1195 福沢諭吉の将来本 太田臨一郎 慶應義塾所蔵幕末伝来蘭英書展示会 目録と解説 昭41. 2

<3月>

- 1196 福沢学びのしおり 伊藤正雄 『明治文学全集』14 筑摩書房 昭41. 3

- 1197 『福沢諭吉』 小泉信三 岩波書店 昭41. 3 （岩波新書 590）

- 1198 福沢諭吉を慶應義塾から疎外せよ 高橋誠一郎 明治文学全集月報（筑摩書房）14 昭41. 3

- 1199 福沢諭吉著作解題 富田正文編 『明治文学全集 8 福沢諭吉集』 筑摩書房 昭41. 3

<4月>

- 1200 小泉信三著「福沢諭吉」〈本 批評と紹介〉 朝日ジャーナル 昭41. 4. 24

- 1201 小泉信三著「福沢諭吉」〈書評〉 中村雄二郎 読売新聞 昭41. 4. 7（夕刊）

- 1202 大国権家・福沢諭吉〈東風西風〉 林房雄 読売新聞 昭41. 4. 8（夕刊）

<6月>

- 1203 新収の福沢資料について 会田倉吉 三田評論 650号 昭41. 6

- 1204 福沢諭吉の『瘦我慢の説』 中村光夫 「百年を単位にして」 芳賀書店 昭41. 6

<7月>

- 1205 『慶應義塾紀事』に関する若干の考証 中山一義 史学 39の1 昭41. 7

<8月>

- 1206 福沢諭吉の研究 伊藤正雄 甲南大学紀要 文学編 I 昭41. 8 目次：福沢諭吉の生涯、福沢諭吉と現代日本、福沢諭吉と国語の問題、『学問のすゝめ』の用語の考察、『学問のすゝめ』初編講読—福沢精神の骨格を語る、福沢諭吉の社会契約論、赤穂不義士と楠公権助論の由来について、「学問のすゝめの評」私観、福沢の筆に投影したウェーランドの『経済論』『西洋事情』の福沢思想上における重要性、福沢先生の老いらくは四十六歳から、福沢諭吉と勝海舟・新島襄・徳富蘇峰、福沢諭吉と岡倉天心、福沢の文章に対する現代学生の読解力について、福沢研究の手引き、国語表記の諸問題私見、新渡戸稲造と福沢精神、福沢のモラルとウェーランドの『修身論』

<9月>

- 1207 小泉先生の福沢論 伊藤正雄 新文明 増刊『小泉信三先生追悼録』 昭41. 9

- 1208 福沢諭吉『福翁自伝』〈私の古典 22〉 大内兵衛 エコノミスト 44の36 昭41. 9
 〈11月〉
- 1209 福沢における「抵抗」の論理の展開 西田毅 同志社法学 99号 昭41.11
- 1210 福沢百助の死をめぐる〈研究余録〉 帆足図南次 日本歴史 222号 昭41.11
 〈12月〉
- 1211 伊藤正雄『福沢諭吉の研究』〈書評〉 富田正文 三田評論 655号 昭41.12
- 1212 『福翁自伝』独訳の試み(1) 飯田国雄, G. Linzbichler, 荒井秀直, 尾崎盛景 経済学
 部論文集(慶應義塾ドイツ語部会) 6 昭41.12
- 1213 福沢書翰の新資料(明治27年3月?付, 中津第七十八国立銀行宛, 写) 会田倉吉 史
 学 39の3 昭41.12
- 1214 福沢諭吉(I)(II) 服部之総 『服部之総随筆集 黒船前後』 筑摩書房 昭41.12
- 1215 明治時代の慶應義塾 上・中・下 中山一義 三色旗 225~227号 昭41.12~42. 2

1967年(昭和42)

- 1216 **A critical edition on selected speeches of Fukuzawa Yukichi dealing with the
 mordernization and notes** by Wayne Oxford. Dissertation of University of
 Hawaii. 1967
- 1217 **Gakumon no susume in first draft** by J. I. Ackroyd. Unversity of Queensland
 1967 in progress.
 〈1月〉
- 1218 学問のすゝめ〈百年の名著〉 色川大吉 朝日新聞 昭42. 1.19(朝刊)
- 1219 『芝新銭座慶應義塾之記』に関する若干の考証 中山一義 史学 40の1 昭42. 1
- 1220 先生の死〈私の履歴書14〉 高橋誠一郎 日本経済新聞 昭42. 1. 6
- 1221 福沢先生と演劇〈エピメーテウス45〉 高橋誠一郎 三田評論 656号 昭42. 1
- 1222 福沢における「抵抗」の倫理の展開—近代日本の政治倫理(1) 西田毅 同志社法学 18
 の2 昭42. 1
- 1223 福沢諭吉と慶應義塾 会田倉吉 英語教育 15の10 〈特集明治の英学〉 昭42. 1
- 1224 福沢諭吉と森鷗外 荒川久寿男 皇学館大学紀要 5輯 昭42. 1
- 1225 福沢諭吉の宗教観 南原繁 学士会々報 昭42. 1
 〈2月〉
- 1226 福沢諭吉の精神について—特に中学生や高校生に伝えたいこと 伊藤正雄 歴史教育
 15の2 昭42. 2
 〈3月〉
- 1227 Yukichi Fukuzawa ; his concept of civilization and view of Asia—profile of Asian
 minded man by Sannosuke Mastumoto. Developing Economics, vol. 5, no. 1,
 1967 March. pp.156-172.

- 1228 岩波新書『福沢諭吉』をめぐって 昆野和七, 土橋俊一等 座談会 福沢研究 9号
昭42. 3
- 1229 全国小・中・高校アンケート—教師は福沢諭吉をいかに観ているか 西村春樹 福沢研
究 9号 昭42. 3
- 1230 徳富蘇峰氏の福沢先生評論に就いて解説 昆野和七 福沢研究 9号 昭42. 3
- 1231 福沢先生の著作権擁護の第一声 富田正文 福沢研究 9号 昭42. 3
- 1232 福沢先生墓参風景（口絵） 三田評論 658号 昭42. 3
- 1233 福沢の新資料原稿二編「東京米商会所」と「相場所営業の延期」 会田倉吉 史学 39
の2 昭42. 3
- 1234 福沢諭吉のみた徳川家康 中村菊男 福沢研究 9号 昭42. 3
- 1235 福沢諭吉の臨時恋人〈愛の物語〉 朝日新聞 昭42. 3. 19（朝刊）
〈4月〉
- 1236 Fukuzawa Yukichi and the introduction of Western rhetoric into Japan by Joh
Foxen. Depauw University, 15th April 1967. (Mimeography)
- 1237 漢訳『男女交際論』 西田長寿 三田評論 659号 昭42. 4
- 1238 福沢先生を理解するために 土橋俊一 慶應義塾大学塾生案内別冊『大学はかくありた
い』 昭42. 4
- 1239 福沢先生の雑婚奨励論について—鹿鳴館時代の一齣 伊藤正雄 三田評論 659号 昭
42. 4
- 1240 福沢先生の政治経済論 高橋誠一郎 三田評論 659号 昭42. 4
- 1241 『福沢諭吉』—生きつづける思想家 河野健二 講談社 昭42. 4（講談社現代新書
110）
〈6月〉
- 1242 重文新指定の三田演説館 会田倉吉 三色旗 231号 昭42. 6
- 1243 福翁自伝 宮川寅雄 「世界大百科事典」19巻 202頁 平凡社 昭42. 6
- 1244 福沢諭吉 [岩井忠熊] 「世界大百科事典」19巻 212頁 平凡社 昭42. 6
- 1245 文明論之概略 岩井忠熊 「世界大百科事典」19巻 822頁 平凡社 昭42. 6
〈7月〉
- 1246 福沢書翰の新資料（明治20年2月2日付, 中村宛）〈余白録〉 会田倉吉 史学 40の
1 昭42. 7
- 1247 福沢書翰の新資料（明治23年1月19日付, 山口広江宛）〈余白録〉 会田倉吉 史学
40の1 昭42. 7
- 1248 福沢書翰の新資料（明治24年3月23日付, 松山棟庵宛）〈余白録〉 会田倉吉 史学
40の1 昭42. 7
- 1249 『福沢諭吉の名言集』 富田正文 ポプラ社 昭42. 7（世界名言集 10）
〈8月〉

- 1250 対談閑話 私学に生きる1 福沢精神への復帰 高村象平 毎日新聞 昭42.8.12
〈9月〉
- 1251 アジアの近代化と慶應義塾—ベトナムの東京義塾・中国の梁啓超その他について 和田
博徳 慶應義塾商学部創立十周年記念 日吉論文集 昭42.9
〈10月〉
- 1252 巨峰 福沢諭吉〈近代日本の百年人物〉 会田倉吉 毎日新聞 昭42.10.10(夕刊)
〈11月〉
- 1253 福沢諭吉〈明治の思想〉高野澄 『現代教養百科事典』5巻 379～380頁 暁教育図書
昭42.11
- 1254 福沢諭吉先生と鈴木大拙さんと〈わが心の風土8〉松永安左エ門 読売新聞 昭42.11.
19(朝刊)
- 1255 『福沢諭吉』— 人と思 鹿野政直 清水書院 昭42.12
- 1256 福沢諭吉と夏目漱石・菊池寛・彼らをつなぐ幾筋かの糸について 伊藤正雄 甲南大学
文学会論集 35号 昭42.12

1968年(昭和43)

- 1257 福沢書簡二通—金井又二宛 会田倉吉 史学(三田史学会) 41巻2号 昭43
〈1月〉
- 1258 学問のすゝめ 福沢諭吉著 伊藤正雄校注 旺文社文庫〈書評〉 朝日新聞 昭43.1.
23(朝刊)
- 1259 福沢諭吉〈近代日本指導者層の中国認識〉1～4 橋川文三 中国 50～53号 昭43.
1～4
〈2月〉
- 1260 福沢諭吉 上・下〈日本のこころその代表人物〉 萩原延寿 毎日新聞 昭43.2.20～
21(夕刊)
- 1261 福沢諭吉における「文明」の研究 山県三千雄 人文論集 第5号 昭43.2.20
- 1262 福沢諭吉の教育目的について 岡本仁三郎 大阪教育大学紀要IV・教育科学 16 昭
43.2
〈4月〉
- 1263 『「学問のすゝめ」』講説—福沢諭吉の骨格を語る 伊藤正雄 風間書房 昭43.4 目
次:『学問のすゝめ』解題,初編～17編,付録「学問のすゝめの評」について,索引
1.福沢の特色2.福沢の作品3.主要事項4.主要人名・書名5.主要語句
- 1264 慶應義塾という名の起り 中山一義 慶應義塾学報 11号 昭43.4.1
- 1265 慶應義塾という名の起り 中山一義 三田評論 670号 昭43.4
- 1266 「日本大儒福沢諭吉語録」について 和田博徳 三田評論 670号 昭43.4
- 1267 福沢手稿と横浜瓦斯事件〈資料紹介〉 庵逄巖 三田評論 670号 昭43.4

- 1268 福沢先生にかんする十二章 土橋俊一 三色旗 241～252号 昭43. 4～44. 3
- 1269 福沢諭吉と物理学 豊田利幸 図書 224号 昭43. 4
- 1270 わが国特殊教育と福沢及びその門下 中野善達 三田評論 670号 昭43. 4
 〈5月〉
- 1271 慶應義塾命名百年 会田倉吉 三色旗 242号 昭43. 5. 1
- 1272 福沢諭吉、福沢諭吉の人と書翰、他 小泉信三「小泉信三全集」21巻 文芸春秋 昭43. 5
- 1273 福沢諭吉〈銅像との対話〉 高橋知巳 産経新聞 昭43. 5. 7（夕刊）
 〈6月〉
- 1274 日本の近代化に尽くした人々 6 福沢諭吉 池田弥三郎 言語生活 201号 昭43. 6
- 1275 福沢書翰の新資料二通（明治16年4月20日付、和田義郎宛および年未詳1月23日付和田義郎夫人宛）会田倉吉 史学 41の1 昭43. 6
 〈8月〉
- 1276 ああ慶應義塾命名百年—義塾に何を期待するか（アンケート） 梅田晴夫ほか 三田評論 674号〈慶應義塾命名百年記念特集〉 昭43. 8. 9 合併号
- 1277 梅園・万里・諭吉〈エピメーテウス62〉 高橋誠一郎 三田評論 674号〈慶應義塾命名百年記念特集〉 昭43. 8・9
- 1278 百年前の慶應義塾 河北展生 慶應義塾大学報 13号 昭43. 8. 1
 〈9月〉
- 1279 福沢書翰二通（3月12日付および7月5日付、金井又二宛）について〈余白録〉 会田倉吉 史学 41の2 昭43. 9
- 1280 福沢書翰の新資料（年未詳2月23日付、内田晋斎宛）〈余白録〉 会田倉吉 史学 41の2 昭43. 9
- 1281 福沢諭吉 中村光夫 湯川松次郎「明治の人物と文化」弘文社 昭43. 9
 〈10月〉
- 1282 偽版と福沢諭吉〈標的〉 朝日新聞 昭43. 10. 17（夕刊）
- 1283 福沢諭吉とピューリタン経済倫理 天川潤次郎 関西学院大学論攷 第51巻 昭43. 10
 〈11月〉
- 1284 The spirit of capitalism in Meiji Japan, the economic ethics of Fukuzawa Amakawa Junjiro Kwansei Gakuin University Annual Studies, xvii, Nov., 1968
- 1285 ウェイランドの修身書 海後宗臣 「明治文化研究」第2集 日本評論社 昭43. 11. 15
 〈12月〉
- 1286 学問のすゝめ 富田正文解題 『名著復刻近代文学館作品解題 明治前期』 日本近代文学館 昭43. 12
- 1287 世界国盡 富田正文解題 『名著復刻近代文学館作品解題 明治前期』 日本近代文学館 昭43. 12

- 1288 福沢塾より慶應義塾への発展—過程とそこに展開された教育 影山昇 鳥取大学教育学部紀要・1・教育科学 昭43.12

1969年(昭和44)

- 1289 『日本現代文学全集』第2 福沢諭吉・中江兆民・岡倉天心・徳富蘇峰・三宅雪嶺集 伊藤整等編 講談社 1969 444 P 22cm (内容: 福沢諭吉・中江兆民・岡倉天心・徳富蘇峰・三宅雪嶺入門 柳田泉)
- 1290 『日本の名著』33 福沢諭吉 永井道雄編 中央公論社 1969. 9 (内容: 断絶の時代における飛躍 永井道雄「学問のすすめ」「文明論の概略」ほか現代表記)
- 1291 福沢書簡の新資料—渋沢栄一宛, 花井万吉宛 会田倉吉 史学 42巻4号 昭44
- 1292 大学紛争と福沢諭吉〈軸〉 朝日新聞 昭44. 1. 14 (朝刊)
〈3月〉
- 1293 福沢諭吉の哲学について(日本哲学会第28回大会研究発表要旨) 松井正樹 哲学 19 昭44. 3
- 1294 『明治期啓蒙教育の研究』—福沢諭吉における日本近代国家の形成と教育 牧野吉五郎 御茶の水書房 昭44. 3
- 1295 『明治文化研究』第3集 明治文化研究編 日本評論社 1969. 3 266 P 22cm (内容: 兵庫県福沢諭吉に負ける 阪本勝)
〈4月〉
- 1296 咸臨丸の渡航と福沢諭吉 伊藤弥之助 三田評論 681号 昭44. 4
- 1297 朝鮮近代思想と「西洋事情」 青木功一 三田評論 681号 昭44. 4
- 1298 福沢先生とH. スпенサーの「教育論」 渡辺徳三郎 三田評論 681号 昭44. 4
- 1299 福沢諭吉先生をおもう, 明治文明史上の福沢翁、福沢翁と時事新報(大隈伯社会観から) 大隈重信 木村毅監修『大隈重信は語る』第1巻 早稲田大学出版部 昭44. 4
- 1300 福沢諭吉と自然科学 豊田利幸 三田評論 681号 昭44. 4
- 1301 福沢諭吉の人間観と宗教観 室田泰一 岐阜大学教育学部研究報告・人文科学 17 昭44. 4. 1
〈6月〉
- 1302 『回想・慶應義塾100年』 池田弥三郎編 ビデオ出版 昭44. 6
- 1303 福沢諭吉と小泉信三 神沢惣一郎 早稲田商学 209号 昭44. 6
〈8月〉
- 1304 大熊氏作福沢先生胸像について 富田正文 三田評論 685号 昭44. 8・9 合併号
〈9月〉
- 1305 福沢諭吉—断絶の時代における飛躍 永井道雄解説 『日本の名著』33巻 福沢諭吉 中央公論社 昭44. 9 580円
〈10月〉

- 1306 大晦日の晩の福沢先生 笠井清 福沢手帖 4号 昭44.10
- 1307 『学問のすゝめ』の文学性 伊藤正雄 三田評論 686号 昭44.10
- 1308 『福沢諭吉全集』の再版について 富田正文 三田評論 686号 昭44.10
- 1309 『福沢諭吉論考』 伊藤正雄 吉川弘文館 昭44.10 612, 77P 3500円

1970年（昭和45）

- 1310 福沢書簡の新資料—小嶋政亨宛 会田倉吉 史学 43巻3号 昭45
- 1311 『福沢諭吉』—思想と政治との関連 遠山茂樹 東京大学出版会 昭45
- 1312 『福沢諭吉』—その人と生活 会田倉吉著 日新報道 1970 268P 19cm 450円
- 1313 『福沢諭吉選書』 慶應義塾大学 1970年より刊行（福沢に関するものに限る）① 福沢諭吉と自然科学 豊田利幸著, ③ 『学問のすゝめ』の文学性 伊藤正雄著, ⑤ 福沢門下の政治家たち 中村菊男著, ⑥ 幕末日本人の西欧体験—若き福沢を中心として 芳賀徹著, ⑧ 新資料から見た福沢先生 富田正文著, ⑩ 日本簿記史上における福沢諭吉 西川孝治郎著, ⑫ 啓蒙思想家としての福沢諭吉 河野健二著, ⑬ 福沢諭吉の士魂 伊藤正雄著, ⑮ 福沢諭吉の歴史観 神山四郎著, ⑰ 福沢諭吉と子供たち 内田英二著, ⑲ 福沢先生と法律 手塚豊著, ⑳ 慶應義塾豆百科 会田倉吉著, ㉒ 福沢先生と北里先生 長木大三著, ㉔ 草創期の義塾と中津藩士の入門 河北展生著, ㉖ 福沢先生と国語国字問題 池田弥三郎著, ㉗ 福沢先生と社会問題 飯田鼎著, ㉙ 慶應義塾新豆百科 土橋俊一著, ㉚ 福沢諭吉後の時事新報 内川芳美著, ㉜ 福沢諭吉における徳育思想の特質 小泉仰著, ㉝ 福沢諭吉の歴史意識と文明開化 A. クレイグ著, ㉞ 慶應義塾続豆百科 土橋俊一著, ㉟ マックス・ウェーバーと福沢諭吉 石坂巖著, ㊱ 「修身要領」発表前後 土橋俊一著, ㊲ 福沢先生と政治学科開設90年 堀江湛著, ㊴ 朝鮮と福沢諭吉 石坂巖著, ㊵ 大学部開設百年 西川俊作著
- 1314 『福沢諭吉とその門下書誌』 丸山信編著 慶應通信 1970 247P 22cm（慶應義塾関係者文献シリーズ第1集） 1800円
- 1315 『明治人の観た福沢諭吉 資料集成』 伊藤正雄編 慶應通信 1970 243P 19cm
（内容：旧友福沢諭吉君を哭す 福地桜痴 ほか） 980円

<4月>

- 1316 福沢諭吉の諸領域 三色旗 昭45.4月～昭46.12月まで21回連載 第1～2回 福沢研究の現状 富田正文 昭45.4～5 第3回 福沢先生と教育 渡辺徳三郎 昭45.6 第4回 福沢諭吉と自然科学 佐々木重雄 昭45.7 第5回 福沢諭吉とジャーナリズム 茅根英良 昭45.8 第6回 福沢先生の宗教観 横浜禮吉 昭45.9 第7回 福沢先生と政治 中村菊男 昭45.10 第8回 福沢諭吉著訳書の原拠本 太田臨一郎 昭45.11 第9回 福沢諭吉と奇跡 清岡暎一 昭45.12 第10回 福沢諭吉と物理学 佐々木重雄 昭46.1 第11回 福沢塾と諸藩 伊東弥之助 昭46.2 第

12回 福沢諭吉と幼稚舎の教育 吉田小五郎 昭46. 3 第13回 福沢先生の英雄観
伊藤正雄 昭46. 4 第14回 福沢諭吉と数学 佐々木重雄 昭46. 5 第15回 福沢
諭吉の法思想 向井健 昭46. 6 第16回 福沢先生と遺言 中山一義 昭46. 7 第
17回 鉄砲洲新銭座時代の入門者 丸山信 昭46. 8 第18回 福沢諭吉と海外旅行
西岡秀雄 昭46. 9 第19回 福沢諭吉と婦人論 昆野和七 昭46.10 第20回 福沢
諭吉と漢学 佐志伝 昭46.11 第21回 (完) 福沢における言葉と文章 土橋俊一
昭46.12

<10月>

1317 日本近代教育の思想構造—福沢諭吉の教育思想研究 安川寿之輔 新評論 昭45.10

<11月>

1318 『福沢諭吉』—思想と政治との関連 遠山茂樹 東京大学出版会 昭45.11 480円 (U
P選書) (書評) ひろた・まさき「最近の福沢諭吉研究について」—遠山茂樹・安
川寿之輔の成果を中心に 日本史研究 1—22号 昭46.11

1971年 (昭和46)

1319 『西南戦争の原因としての福沢諭吉と大久保利通の対立』 坂元盛秋著 表現社 1971
126, 99 P 22cm

1320 『先駆者の思想』 小泉信三 [等] 著 弘文堂書房 1971 249 P 19cm (アテネ新
書) (内容: 福沢諭吉ほか)

1321 福沢諭吉の経済思想 『文明論之概略』考 近代の意味 正田庄次郎 北里大学教養部
紀要 5~7号 昭46~48

1322 福沢諭吉の儒教批判論について—福沢研究その1 多田顕 千葉大学教養部研究報告
A—4 1971

<2月>

1323 福沢諭吉の経済思想 藤原昭夫 (杉原四郎編『近代日本の経済思想』の中の「明治初
期の経済思想」の前編部分) ミネルヴァ書房 昭46. 2

<3月>

1324 大隈・福沢の初対面 佐藤能丸 早稲田大学史紀要 (早稲田大学史編集所) 4巻 昭
46. 3

1325 福澤門下の政治家たち 中村菊男 慶應義塾大学 昭46. 3 (福沢記念選書5)

1326 『文明論之概略』に学ぶべきもの 伊藤正雄 甲南大学紀要・文学編 4章 昭46. 3

<4月>

1327 『学問をすゝめた人・福沢諭吉』 関口研日磨著 文研出版 昭46. 4

1328 勝海舟と福沢諭吉 勝部真長 中央公論 臨時増刊・歴史と人物 2 昭46. 4

1329 「三田評論」 第703号 (特集号) 三田移転百年を迎えて 昭46. 4 ○幕末日本人の
西欧体験—若き福沢を中心として 芳賀徹 ○福沢研究への視点の問題 遠山茂樹

○『福沢諭吉』を中心として 中村菊男 ○鼎談 三田移転百年 大久保利謙 富田正文、中山一義 ○三田移転始末記 会田倉吉 ○福沢諭吉と芥川龍之介—二つの桃太郎観 三島新吉 ○維新前後の五つの福沢本—『増訂華英通語』高梨健吉、『西洋事情』松島栄一、『雷銃操法』太田臨一郎、『窮理図解』大鳥蘭三郎、『世界國盡』西岡秀雄 ○咸臨丸—ヤパン号（Japan）に関する新史料 片桐一男

1330 明六社時代の福沢諭吉 飯田茂登夫 塾友 21巻4号 昭46.4

<5月>

1331 慶應大学に衣服仕立局が新設—黎明期に活躍した人たち16 古田元 洋装 昭46.5

<6月>

1332 『福翁自伝と福沢諭吉』 鹿野政直著 さ・え・ら書房 昭46.6

<8月>

1333 『西郷隆盛』—福沢諭吉の証言 坂元盛秋 新人物往来社 昭46.8

<10月>

1334 福沢諭吉と慶應義塾 安川寿之輔 望星（東海教育研究所） 2巻9号 昭46.10

1335 福沢諭吉の『自国独立』論 亀井俊介著 『ナショナリズムの文学—明治の精神探究』所収 研究社 昭46.10 （研究社叢書）

<12月>

1336 福沢諭吉の不況対策論—松方デフレ期を中心に 藤原昭夫 千葉商大論叢 16号B商経篇 昭46.12

1972年（昭和47）

1337 『北村透谷』 日本文学研究資料刊行会編 有精堂出版 1972 311P 22cm（内容：福沢諭吉と北村透谷—思想上の二大恩人 木下尚江談）

1338 『現代日本文学大系』2 福沢諭吉、三宅雪嶺、中江兆民、岡倉天心、徳富蘇峰、内村鑑三集 筑摩書房 1972 490P（目次：福沢における秩序と人間 丸山真男、福沢の歴史観と愛国論 小泉信三）

1339 『桃介・独立のすすめ』—福沢諭吉直伝サラリーマン立身術 小島直記著 新評社 1972 254P 20cm 620円

1340 福沢諭吉と著作活動—日本の著作権思想の原点 大家重夫 広報（日本広報協会） 219号 昭47.1

<1月>

1341 福沢諭吉全集再版の完了—主として別巻の新資料について 富田正文 図書（岩波書店） 270号 昭47.1

<2月>

1342 修身要領の運命 中山一義 仔馬 23巻5号 昭47.2

1343 中津の福沢先生胸像—エピメーテウス98 高橋誠一郎 三田評論 712号 昭47.2

- 1344 福沢自伝と酒 坂口謹一郎 学鑑 69巻2号 昭47.2
- 1345 福沢諭吉 滝廉太郎 今永清二, 小長久子 大分県先覚者シリーズ刊行会 昭47.2
(郷土の先覚者シリーズ—二集)
- <3月>
- 1346 『ふくざわゆきち』 小暮正夫著 小峰書店 昭47.3 (幼年伝記物語7)
- 1347 福沢諭吉と長沼事件 高柳正平 成田市研究 1 成田市編さん委員会編 1972.3
- <4月>
- 1348 福沢諭吉 “剣のすゝめ” 中津藩立身流居合, 最後の後継者 夕刊フジ 977号 昭47.
4.23 <参考> 「菊」 32号 昭47.5.15 (日本美術刀剣新聞社) 同名所収
- 1349 『福沢諭吉全集』再版の完了—新資料から見た福沢先生 富田正文 『福沢諭吉全集』
別巻を読む 伊藤正雄ほか 三田評論 714号 昭47.4
- 1350 『文明論之概略』—今も鳴る明治先覚者の警鐘 伊藤正雄著・口訳評注 慶應通信 昭
47.4 2800円
- <5月>
- 1351 明治の啓蒙家—福沢諭吉 会田倉吉 青年 (日本青年館) 35号 昭47.5
- <6月>
- 1352 『学問のすゝめ』百年 富田正文 塾友 10巻3号 昭47.6
- 1353 ヒゲのある福沢先生 吉田小五郎 三田評論 716号 昭47.6
- 1354 福沢諭吉における言葉遣いの論理 柳父章著 『翻訳語の論理』 法政大学出版局 昭
47.6 (第四章の全文)
- 1355 福沢諭吉の紙幣整理論 藤原昭夫 千葉商大論叢 17号B商経篇 昭47.6
- <7月>
- 1356 『学問のすゝめ』初篇 (福沢諭吉) 富田正文 現代文訳・解説 財団法人福沢旧邸保
存会 昭47.7 (参考) 尾崎盛景『福翁自伝』独訳のこと 塾 10巻1号
- 1357 『ごまめの歯ぎしり』—福沢諭吉とともに 伊藤正雄著 初音書房 昭47.7 600円
- 1358 福沢先生とE・S・モース 伊藤正雄 三田評論 717号 昭47.7
- 1359 明治初年の愛媛県教育への福沢諭吉の影響 影山昇 三田評論 717号 昭47.7
- <8月>
- 1360 桑原三郎「未開拓な領域への斧鉞—伊藤正雄著『口訳・評注文明之概略』」 三田評論
718号 昭47.8
- 1361 福沢諭吉と現代—人と教育思想 伊藤正雄 小五教育技術 小学館 昭47.8
- <9月>
- 1362 大隈と福沢 (1, 2, 3) 高野善一 早稲田学報 復刊26巻7, 8, 9号 昭47.10.11
- 1363 黎明期の経済学研究と福沢諭吉—日本経済史研究序説 その1, 2 飯田鼎 三田学会
雑誌 65巻9, 11号 昭47.9.11
- <10月>

- 1364 福沢諭吉と岡倉天心（近代日本と中国36） 橋川文三 朝日ジャーナル 14巻43号 昭47.10
- 1365 福沢諭吉における第三の転向 広田昌希 思想 326号 昭47.10
〈11月〉
- 1366 福沢諭吉と大隈重信 富田正文 三田評論 720号 昭47.11
〈12月〉
- 1367 福沢書簡の新資料—吉良亨、永田一二宛 会田倉吉 史学 45巻2号 昭47.12
- 1368 福沢諭吉における資本主義体制の構想(1)—「貿易立国」策の検討 藤原昭夫 千葉商大論叢 18号B商経篇 昭47.12

1973年（昭和48）

- 1369 **The Speeches of Fukuzawa : a translation and critical study by Wayne H. Oxford.** Hokuseido Press 1973
- 1370 高等学校・現代国語1 久松潜一・吉田精一・佐藤謙三編 昭和48年度用教科書 角川書店（『学問のすゝめ』を収録）
- 1371 『日本の文学』43 小林秀雄 中央公論社 1973 538 P 18cm（アイボリーバックス）（内容：福沢諭吉）
- 1372 日本簿記史上における福沢諭吉 西川孝治郎 慶應義塾大学 昭48（福沢諭吉選書10）
- 1373 福沢諭吉における資本主義体制の構想(2)—福沢諭吉の農業論 藤原昭夫 千葉商大論叢 11巻1号B商経篇 昭48
- 1374 『論集・福沢諭吉への視点』 市村弘正編集・解説 りせい書房 1973 242 P 19cm（内容：福沢諭吉君及び其著述（他） 山路愛山 ほか）
〈1月〉
- 1375 『春日随想』 高橋誠一郎 読売新聞社 昭48.1
〈2月〉
- 1376 経営ナショナリズム思想家福沢諭吉 森川英正著 『日本型経営の源流』中の第一章第二節所収 東洋経済新報社 昭48.2
- 1377 バジョットの『英国の国家構造』と福沢諭吉の皇室論 伊藤正雄 日本歴史（吉川弘文館） 297号 昭48.2
- 1378 『福沢屋諭吉』の生成過程について—幕末維新出版史の一断面 長尾政憲 法政史学 25号 昭48.2
- 1379 『福沢諭吉』 神戸淳吉著 集英社 昭48.2 （母と子の世界の伝記4）
- 1380 魯文と諭吉—『西洋道中膝栗毛』小考 谷口巖 愛知教育大学研究報告 第22輯 昭48.2
〈3月〉
- 1381 続福沢諭吉と長沼事件 高柳正平 成田市研究 2 1973.3

- 1382 福沢先生と三冊の本 土橋俊一 仔馬 24巻6号 昭48.3
- 1383 福沢諭吉の教育思想—『文明論之概略』の成立とその教育的意義 佐伯友弘 九州大学
教育学部紀要 18集 昭48.3
- 1384 福沢諭吉の宗教観—附文献 研究報告・明治思想家の宗教観 小泉仰 三康文化研究所
年報 4・5号 昭48.3
- 1385 福沢諭吉の女性論 村井実 萌木（慶應義塾女子高等学校） 8号 昭48.3
〈4月〉
- 1386 三田評論 725号 昭48.4 〈特集〉日本簿記史上における福沢諭吉 西川孝治郎,『福
沢諭吉全集』の読者 土橋俊一『改暦弁』と日本暦
- 1387 洋学者福沢諭吉の文章 芳賀徹 『国語通信』 筑摩書房 昭48.4
〈6月〉
- 1388 『回想九十年』 高橋誠一郎 筑摩書房 昭48.6
- 1389 自由民権期の交詢社について(1) 後藤靖 日本史研究 133号 1973.6
- 1390 福沢錦五十回忌記念誌 福沢範一郎 私家版 昭48.6 (福沢土岐両家の最近までの
系譜を収録)
- 1391 福沢諭吉の少年時代 ひろたまさき 赤松俊秀教授退官記念『国史論集』 昭48.6
〈7月〉
- 1392 福沢先生と文学 桑原三郎 仔馬 25巻2号 昭48.7
〈8月〉
- 1393 社団法人福沢諭吉協会の発足 富田正文 三田評論 729号 昭48.8
- 1394 福沢きん五十回忌の集い 福沢範一郎 三田評論 729号 昭48.8
- 1395 論集『福沢諭吉への視点』 市村弘正編 りせい書房 昭48.8 (解題がある)
〈9月〉
- 1396 第一回東京府会のころ—とくに福沢諭吉との関係 石井敏達 都議会リポート 42号
昭48.9
- 1397 福沢諭吉書簡—偲ばれる温かい一面—丸福蒲鉾店に伝わる 紀州新聞 昭48.9.7
(「福沢手帖」に富田正文の紹介がある)
〈10月〉
- 1398 少年時代の福沢諭吉 松前治作 会田倉吉監修 福沢旧邸保存会 昭48.10
- 1399 福沢諭吉全集再版以後の新資料 富田正文 図書 290号 昭48.10
- 1400 諭吉と海舟 和田正弘 『西洋の衝撃と日本』講座・比較文学 東京大学出版会 昭
48.10
〈12月〉
- 1401 訓蒙窮理図解の背景—福沢先生の子供の本 桑原三郎 仔馬 25巻4号 昭48.12
- 1402 福沢研究文献紹介(連載) 昆野和七 福沢手帖 1,2,3,4号 昭48.12~昭49.10
- 1403 諭吉の書簡をめぐって—新資料紹介 山口一夫 福沢手帖 1号 昭48.12

1974年（昭和49）

- 1404 『江藤淳全対話』1 江藤淳 小沢書店 1974 409 P 20cm（内容：福沢諭吉の文体と発想 西尾実、丸山真男との対話）
- 1405 雲を呼ぶ野生の叫び—福翁人間像の側面 松前治作 日本及日本人 昭49陽春号
- 1406 福沢諭吉の婦人論—「倫・社」教材のために 清水威 東京法令出版季報 15号 昭49<2月>
- 1407 福沢諭吉とイソップ物語—『童蒙教草』と『かたわ娘』をめぐって 谷口巖 愛知教育大学研究報告 第23輯（人文・社会） 昭49.2<3月>
- 1408 「帳合之法」の動機的源泉としての「学問のすゝめ」，「学問のすゝめ」の具体例としての「帳合之法」 黒沢清 （「わが国制度会計百年のあゆみ」中の二，三） 会計105巻3号 昭49.3
- 1409 日本近代公教育における『学問のすゝめ』初編の教育史的意義について 佐伯友弘 —「学制」（1872年）との関連において 九州大学教育学部紀要 19集別刷 1974.3
- 1410 日本文化の先覚者『福沢諭吉の一生』 絵・早川正，文・嶋通夫 福沢旧邸保存会 昭49.3
- 1411 二つの自叙伝（白石・諭吉） 昆野和七 泉（文化総合出版） 4号 昭49.3
- 1412 福沢諭吉の収支簿記思考と「銀行簿記精法」（日本簿記史上の明治六年の意義・六） 西川孝治郎 会計 105巻3号 昭49.3
- 1413 福沢諭吉と勝海舟—『瘦我慢の説』の背景 富田正文 歴史手帖別冊1号（勝海舟特集） 昭49.3<4月>
- 1414 大村・勝・加藤 富田正文 人物叢書付録 170号 昭49.4
- 1415 啓蒙思想家としての福沢諭吉（第139回福沢諭吉誕生記念講演） 河野健二 三田評論 昭49.4
- 1416 三通の福沢書簡—松山棟庵宛二通，和田義郎宛一通 富田正文 福沢手帖 2号 昭49.4
- 1417 「天皇論」の歴史的展開（特別企画） 世界政経編集部 世界政治 昭49.4 （福沢諭吉『帝室論』所収）
- 1418 長沼事件関係資料・福沢の揮毫再発見 高柳正平 福沢手帖 2号 昭49.4
- 1419 『日本人の自伝』 佐伯彰一著 講談社 昭49.4（「群像」昭和48年1月より1ヶ年連載されたもの）
- 1420 福沢先生の漢詩の解説(1)福沢先生仏さまをたすける 富田正文 塾友 昭49.4
- 1421 『福沢諭吉』 会田倉吉著 吉川弘文館 昭49.8 800円（日本歴史学会編・人物叢書）（参考）書評・昆野和七 福沢手帖3 昭49.7 書評・土橋俊一 三田ジャーナル36号 連合三田会編 昭49.8

- 1422 福沢諭吉研究と私 富田正文 三田評論「わが道」 24 昭49. 4
- 1423 福沢諭吉の演説—研究と英文翻訳 清岡暎一 福沢手帖 2号 昭49. 4
- 1424 フランス東洋学とレオン・ド・ロニー—福沢諭吉との関連において 松原秀一 福沢手帖 2号 昭49. 4
- 1425 「三田評論」〈特集〉「福沢諭吉との出会い」昭49. 4 ○『福沢全集緒言』のさとし 緒方富雄, 感動した『福翁百余話』の一節 家永三郎, オデデコチーブ 伊藤正雄, 福沢関係埋没史料発掘私記 大久保利謙, 疑の世界に真理多し 鹿野政直
- 〈5月〉
- 1426 海舟ぎらい 富田正文・南条範夫対談 歴史と人物 33号 昭49. 3
- 1427 福沢先生と勝海舟 富田正文 仔馬 26巻1号 昭49. 5 (慶應義塾幼稚舎創立百年記念号)
- 1428 福沢先生の漢詩の解説(2) 小泉・中上川を激励する 富田正文 塾友 昭49. 5
- 1429 幼稚舎創立百周年記念特集仔馬 (26巻1号) 昭49. 5 ○慶應義塾幼稚舎に学ばなかった憾み 高橋誠一郎, 福沢先生と勝海舟 富田正文, 独立自尊の教育的位置づけ 原田実, 慶應義塾の原点と原像 中山一義
- 〈6月〉
- 1430 福沢先生の漢詩の解説(3) 著述と揮毫の苦心 富田正文 塾友 昭49. 6
- 1431 福沢諭吉と岡倉天心 橋川文三 『近代日本と中国・上』 昭49. 6 (朝日選書13)
- 〈7月〉
- 1432 社会科部会『文明論之概略』読書会 慶應義塾高等学校紀要 55号 昭49. 7
- 1433 序にかえて—海舟ぎらいへの反論(福沢諭吉の『瘦我慢の説』の真意) 勝部真長著 『海舟覚え書』 エルム社 昭49. 7 収録
- 1434 福沢先生の漢詩の解説(4)人生須らく痕あるべし 富田正文 塾友 昭49. 7
- 1435 福沢諭吉に関する常識(慶應義塾高校福沢先生研究会の調査報告) 佐志伝 福沢手帖 3 昭49. 7
- 1436 福沢諭吉のイギリス革命像 今井宏 『明治日本とイギリス革命』第2章の1 研究社 昭49. 7
- 1437 忘れられた書簡のほか—勝安房宛 富田正文 福沢手帖 3号 昭49. 7
- 〈8月〉
- 1438 「演説」と福沢諭吉 会田倉吉 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
- 1439 第1回東京府会のころ—とくに福沢諭吉との関係 石井敏達 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
- 1440 チェンバレンの福沢観 高梨健吉 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
- 1441 新島襄と福沢諭吉 富塚秀樹 同志社新島研究会主催第14回懸賞論文・大学の部一等入選作 新島研究 43 昭49. 8
- 1442 日本語の近代化と福沢諭吉 池田弥三郎 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8

- 1443 『福翁百話』に見る福沢晩年の思想 伊藤正雄 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
 - 1444 福沢先生の漢詩の解説(5) 家門を潤す血潮の滴り 富田正文 塾友 昭49. 8
 - 1445 福沢諭吉研究関係文献目録—原則として昭和46年1月～48年12月まで 昆野和七 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
 - 1446 福沢諭吉と自由民権運動—その民権論と国権論をめぐって 飯田鼎 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
 - 1447 福沢諭吉と智徳論—「文明論之概略」を中心として 神山四郎 塾 12巻4号 昭49. 8
 - 1448 福沢諭吉に関する外国語文献 清岡暎一 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
 - 1449 「福沢屋諭吉」の生成過程について—幕末維新时期出版史の一断面として 長尾政憲 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
 - 1450 明治前期の中等教育と慶應義塾—和久正辰を機縁として 西田長寿 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
 - 1451 洋学者福沢諭吉の文章 芳賀徹 福沢諭吉年鑑 1 昭49. 8
- <9月>
- 1452 怨念は残る—勝海舟・榎本武揚と福沢諭吉 中村菊男 福沢手帖 3号 昭49. 9
 - 1453 福沢先生の漢詩の解説(6) 人に交わるの法 富田正文 塾友 昭49. 9
 - 1454 福沢先生の『瘦我慢の説』をめぐって—三田懇話会における談話 会田倉吉 塾友 昭49. 9
 - 1455 福沢諭吉の瘦我慢 会田倉吉 楡の木（楡の木会）19巻9号 昭49. 9
- <10月>
- 1456 「青い目の嫁」が見た勝海舟 クララ・ホイットニー 一又正雄訳 文芸春秋 昭49. 10
 - 1457 大晦日の晩の福沢先生 笠井清 福沢手帖 4号 昭49. 10
 - 1458 『福翁百話』余録 伊藤正雄 福沢手帖 4号 昭49. 10
 - 1459 福沢先生の漢詩の解説(7)弾丸煙裏に書を読みし人 富田正文 塾友 昭49. 10
 - 1460 『福沢諭吉』会田倉吉著（父兄のための一冊の本） 中山一義（書評）塾 12巻5号 昭49. 10
 - 1461 福沢諭吉と『解体新書』 大島蘭三郎 福沢手帖 4号 昭49. 10
 - 1462 福沢諭吉の立て前と本音—『福翁百話』序説 伊藤正雄 政界往来 40巻10号 昭49. 10
 - 1463 芳連院と老女染井・附竹下権次郎 富田正文 福沢手帖 4号 昭49. 10
 - 1464 明治十年代の絵入り『英名録』による福沢諭吉 丸山信 福沢手帖 4号 昭49. 10
 - 1465 『瘦我慢の説』への想察—諭吉と海舟との対話ならざる対話 井上薫 「勝海舟全集 7」付録 海舟研究（勁草書房） 7 昭49. 10

<11月>

- 1466 啓蒙家福沢諭吉（歴史を創った巨人たち 第26回） 大本至 平凡パンチ 昭49.11
1467 福沢先生の漢詩の解説(8)少年の日とふるさと 富田正文 塾友 昭49.11.12合併号
<12月>
1468 福沢先生の道德教育論 渡辺徳三郎 『徳育資料』（慶應義塾幼稚舎） 昭49.12
1469 福沢諭吉と写真 富田正文 Bronica club 19 昭49.12
1470 福沢諭吉の一大発見 高柳喜一 舶来スリ物語（下） 内外ジャーナル 136号 昭49.
12

1975年（昭和50）

- 1471 「時事新報社説」を通して見た福沢諭吉の経済思想 多田顕 千葉大学教養部研究報告
A—8 1975（昭50）
1472 『日本の思想家』上 新版 朝日ジャーナル編 朝日新聞 1975 300P 19cm（朝日
選書 44）（内容：福沢諭吉 鹿野政直）
1473 福沢諭吉における国権論と民権論 林喜代美 徳島大学教育学部紀要人文・社会学 10
巻 昭50
<1月>
1474 『西洋事情』の文章 進藤咲子 東京女子大学附属比較文化研究所紀要 36巻 昭50.
1
1475 福沢先生の漢詩の解説(9) 除夜と信念 富田正文 塾友 昭50.1
1476 福沢先生の士魂 伊藤正雄 慶應義塾幼稚舎「話を聞く会」講演 昭50.1
1477 福沢先生の道德教育論 渡辺徳三郎 三田評論 昭50.1
1478 『福沢諭吉』 昆野和七著 小学館 少年・少女・世界の名作・日本編4 昭50.1
1479 明治10年代前半期の徳育施策と福沢諭吉の徳育論 影山昇 愛媛大学教育学部紀要第1
部教育科学 21巻 昭50.1
<2月>
1480 廃藩前後における福沢をとりまく地方の教育動向について—紀州藩共立学舎をめぐって
（その1） 多田建次 慶應義塾大学大学院・社会学研究紀要 15号 昭50.2
1481 福沢先生の漢詩の解説(10)福沢先生と歴史観 富田正文 塾友 昭50.2
1482 『近代日本思想大系』2 福沢諭吉集 学問のすゝめ、文明論之概略、明治十年丁丑公
論、ほか 筑摩書房 1975 614P 20cm（内容：福沢に於ける「実学」の転回 丸
山真男，解説 石田雄）
1483 福沢における文化接触と創造的思考 石田雄 筑摩書房刊『近代日本思想大系』2
『福沢諭吉』解説 昭50.1
<3月>
1484 学問のすゝめ雑感 大河内一男 Signature 15巻3号 昭50.3
1485 『福翁自伝』はいかに読まれてきたか—山路愛山から佐伯彰一氏まで 伊藤正雄 甲南

大学紀要大学編 17 昭50.3

- 1486 福沢研究文献紹介（連載） 昆野和七 福沢手帖 5, 6, 7, 8号 昭50.3～12
- 1487 福沢先生の漢詩の解説(11)藤田組贖札事件 富田正文 塾友 昭50.3
- 1488 『福沢諭吉』 内田英二著 カラー版・子どもの伝記30・ポプラ社 昭50.3
- 1489 福沢諭吉とキリスト教—新資料紹介 富田正文 福沢手帖 5号 昭50.3
- 1490 福沢諭吉と長沼事件（完） 高柳正平 成田市研究 1975.3
- 1491 福沢諭吉の金本位制論 藤原昭夫 千葉商大論叢 12巻4号B商経篇 昭50.3
- 1492 フランスと福沢諭吉 松原秀一 福沢手帖 5号 昭50.3
- 1493 『瘦我慢の説』私説—福沢諭吉の勝海舟批判は是非か 伊藤正雄 神戸女子大学紀要 第4巻 昭50.3

<4月>

- 1494 徳島慶應義塾についての一考察 新垣宏一 三田評論 747号 昭50.4
- 1495 福沢史跡散歩 三田評論 昭50.4 目次：中津の福沢旧邸 嶋通夫，長崎の福沢遺跡 永島正一，緒方洪庵の適塾 緒方富雄，鉄砲洲と新銭座 昆野和七，三つの寺—善福寺・常光寺・竜源寺 富田正文，天現寺の別邸 福沢時太郎
- 1496 福沢先生の漢詩の解説(12)花火と演説 富田正文 塾友 昭50.4
- 1497 『福沢諭吉』—人生読本を読んで 水木京太君編 エピメーテウス（132） 高橋誠一郎 三田評論 昭50.4
- 1498 福沢諭吉の歴史観—『文明論之概略』刊行百年を記念して 神山四郎 （第140回福沢先生誕生記念講演） 三田評論 昭50.4
- 1499 瘦我慢の説について 南条範夫 三田評論 昭50.4

<5月>

- 1500 スピーチと演説 会田倉吉 楡の木 18巻5号 昭50.5
- 1501 福沢先生の漢詩の解説(13)ヨーロッパ旅行中の作 富田正文 塾友 昭50.5

<6月>

- 1502 井上角五郎と甲申の乱前後 井上真六 福沢手帖 6号 昭50.6
- 1503 紀州藩共立学舎と福沢の書簡—松山棟庵宛ほか 多田建次 福沢手帖 6号 昭50.6
- 1504 金王元大佐のこと 福沢時太郎 福沢手帖 6号 昭50.6
- 1505 馬場恒吾の福沢観 伊藤正雄 福沢手帖 6号 昭50.6
- 1506 服部鐘・竹下権次郎 会田倉吉 福沢手帖 6号 昭50.6
- 1507 福沢先生の漢詩の解説(14)慶應義塾最初の学生騒動 富田正文 塾友 昭50.6

<7月>

- 1508 英語事始 ブリタニカ編 エンサイクロペディア・ブリタニカ（ジャパン）インコーポレッド 昭50.7 （福沢の家塾—第二章蘭学より英学への頃，慶應義塾—第五章ひらかれた教育の項など会田倉吉執筆）
- 1509 随想・三田演説館五題 三田評論 昭50.7 目次：建物の美（楨文彦） 演説館の思

い出（松本信広） 演説館と名誉学位授与式（清岡暎一） 三田演説会の記録のこと
（会田倉吉） 早慶言論戦の思い出（豊田行二）

1510 福沢先生と演説（三田演説館開館100年記念講演） W. H. オクスフォード 三田
評論 昭50. 7

1511 福沢先生の漢詩の解説(15)人生の禍福 富田正文 塾友 昭50. 7

1512 『歴史と人物』特集・幕末維新の日本構造 中央公論社 昭50. 7 ○対談「立国は私
なり公にあらざるなり」（「瘦我慢の説」の冒頭より） 江藤淳，佐藤誠三郎

<8月>

1513 十年前の三田演説館九十周年記念会について <エピメーテウス136> 高橋誠一郎 三田
評論 昭50. 8・9月号

1514 福沢先生の漢詩の解説(16)韓使の入京を見て 富田正文 塾友 昭50. 8

<9月>

1515 紀州藩共立学舎の研究—廃藩前後における福沢をとりまく地方の教育動向について 多
田建次 福沢論吉年鑑 2 昭50. 9

1516 教科書に現われた福沢論吉 三島新吉 福沢手帖 7号 昭50. 9

1517 トクヴィル・福沢論吉・徳富蘇峰 山下重一 福沢論吉年鑑 2 昭50. 9

1518 「ニュー・アメリカン・サイクロペディア」をめぐって 太田臨一郎 福沢手帖 7号
昭50. 9

1519 福沢先生の漢詩の解説(17)鶴鳴新誌と時事小言 富田正文 塾友 昭50. 9

1520 福沢論吉研究関係文献目録—原則として昭和49年中の文献資料 昆野和七 福沢論吉年
鑑 2 福沢論吉協会 昭50. 9

1521 福沢論吉と勝海舟—『瘦我慢の説』の背景 富田正文 福沢論吉年鑑 2 昭50. 9
（「海舟と維新人物像」 歴史手帖別冊 1号 昭40. 3）

1522 福沢論吉と私学教育—第四回セミナー講演要旨 ヨゼフ・ピタウ 福沢論吉年鑑 2
昭50. 9

1523 福沢論吉と朝鮮留学生—1895年「朝鮮政府委託慶應義塾留学生」の場合を中心として
阿部洋 福沢論吉年鑑 2 昭50. 9

1524 福沢論吉における文化接触と創造的思考 石田雄 福沢論吉年鑑 2 昭50. 9

1525 福沢論吉の宗教演説とその反響 佐藤能丸 福沢手帖 7号 昭50. 9

1526 『文明論之概略』の自筆原稿について 中井信彦・戸澤行夫 福沢論吉年鑑 2 昭50.
9

1527 『瘦我慢の説』私説 伊藤正雄 福沢論吉年鑑 2 昭50. 9

1528 ロンドンの福沢論吉 山口一夫 福沢論吉年鑑 2 昭50. 9

<10月>

1529 朝日新聞記事「答礼晩さん会での天皇陛下のあいさつ」（福沢に言及） 昭50.10. 4 夕
刊

- 1530 福沢先生の漢詩の解説(18)時事新報創刊第一年 富田正文 塾友 昭50.10
 <11月>
- 1531 『柵（えい）人間賛歌』特集福沢諭吉 中津・三田 柵出版社 昭50.11 ○主要著書
 から見た福沢の思想的推移 富田正文 福沢諭吉と三度の洋行 会田倉吉，福沢諭吉
 と時事新報 生田正輝，座談会・慶應義塾 WHO' WHO 鷲尾洋三，野村英一，
 青柳正美，中津における福沢諭吉 嶋通夫等
- 1532 経済思想から見た福沢諭吉と康有為 彭沢周 史林 58巻6号 昭50.11 （『中国の近
 代化と明治維新』 彭沢周著 昭51.11月にも所収）
- 1533 福沢先生の漢詩の解説(19)我が非も天命も知らぬ人物 富田正文 塾友 昭50.11・12合併
- 1534 福沢先生の家庭教育論 渡辺徳三郎 仔馬（慶應義塾幼稚舎） 27巻8号 昭50.11
 <12月>
- 1535 高仲万蔵，はな夫妻の墓 中村仙一郎 福沢手帖 8号 昭50.12
- 1536 日本軍隊の社会的基盤—福沢諭吉の報国会設立構想に関連して 霊山徳行 福沢手帖
 8号 昭50.12
- 1537 『福翁自伝』と『五柳先生伝』 東井金平 福沢手帖 8号 昭50.12
- 1538 『文明論之概略』研究 佐志伝 史学47巻1，2，3，4号 昭50.12～51.4～7
- 1976年（昭和51）
- 1539 『近代日本における歴史学の発達』上 野原四郎，松本新八郎，江口朴郎編 青木書店
 1976 220 P 20cm（内容：福沢諭吉の啓蒙主義と陸羯南の歴史主義 遠山茂樹）
- 1540 『近代日本の思想構造』—諭吉・八束・一輝 井田輝敏著 木鐸社 1976 273，6 P
 22cm
- 1541 『子育ての書』3 山住正己 中絵和恵編注 平凡社 1976 430，2，24 P（内容：
 近代国家への出発と子育て—独立した社会人をつくる子育て 福沢）
- 1542 『時事新報社説』を通して見た福沢諭吉の経済思想 多田顕 千葉大学教養部研究報告
 A—8 昭51
- 1543 「塾」特集・一冊の本・福沢諭吉著書に拾う 昭51 ○不思議な魅力に富む歴史資料—
 『福翁自伝』 富田正文，人間平等と有様の不平等—『学問のすゝめ』 小泉仰，最
 も学問的体系的な福沢の著作—『文明論之概略』，貫かれた抵抗の精神—『丁丑公
 論』と『瘦我慢の説』 昆野和七，人間万事小児の戯れ—『福翁百話』への共感 伊
 藤正雄，男女同権は生涯の念願—『女大学評論・新女大学』 青山はな
- 1544 『人物日本の歴史』20 新政の演出 小学館 1976 259 P 22cm（内容：福沢諭吉
 飛鳥井雅道）
- 1545 『福沢諭吉研究』 ひろたまさき著 東京大学出版会 1976 281 P 22cm 2700円
- 1546 『福沢諭吉の歴史観』—『文明論之概略』刊行百年を記念して 第百四十回福沢先生誕
 生記念講演 神山四郎 慶應義塾大学 昭51（福沢諭吉選書15）

- 1547 『真山青果全集』第8巻 真山青果著 講談社 1976 599p 19cm (内容：福沢諭吉) 昭和15—17の復刊 3200円

<1月>

- 1548 季刊「アカデミー」創刊号 特集・近代化を考える 世界平和アカデミー 昭51.1
○古川哲史「一夫一婦論の思想史的成立過程—日本近代化の一指標として」
- 1549 『文明論之概略』100年 遠山茂樹 図書(岩波書店) 1976.1
- 1550 『歴史公論』 特集・自由民権運動 雄山閣 昭51.1 ○遠山茂樹 福沢諭吉と自由民権運動

<3月>

- 1551 『現代日本の思想構造』第一篇 福沢諭吉の思想構造—政治と均衡の論理 井田輝政 木鐸社 昭51.3
- 1552 塾友「独立自尊の時計塔」特集号 昭51.3 ○塾と時計 富田正文, 福沢先生はなぜ墓所を善福寺に定められたか 山路大八郎, 独訳『福翁自伝』をチューリヒ大学に送る 森馨等々
- 1553 『日本会計発達史』 青木茂男編 国文館 昭51.3 第一章2「帳合之法」の動機源泉としての『学問のすゝめ』の意義 第一章3「学問のすゝめ」の具体的範例としての『帳合之法』
- 1554 『日本近代思想史における法と政治』 石田雄 第一章文化接触と創造的思考の展開—福沢諭吉の場合 岩波書店 昭51.3
- 1555 福沢研究文献紹介(連載) 昆野和七 福沢手帖 9.10.11号 昭51.3~12
- 1556 福沢諭吉と小野友五郎—「再度米国行」を中心として 久野勝弥 福沢手帖 10号 昭51.3
- 1557 福沢諭吉と心身医学 石田行仁 福沢手帖 9号 昭51.3

<4月>

- 1558 錦絵で腐儒思想を攻撃した福沢諭吉 飯沢匡 週刊朝日 昭51.4.30
- 1559 「三田評論」 福沢特集 昭51.4 ○福沢諭吉—思想とその人 松本正夫, 福沢先生と子ども 内田英二, 福沢諭吉の「覚書」—その日本人論について 遠山茂樹
- 1560 漫画の推進者—北沢楽天の発見 飯沢匡 PHP 昭51.4.30日号

<5月>

- 1561 「爰に日本国内の一小区において」—福沢先生の歴史的方法・断章 西川俊作 三色旗 338号 (慶應義塾大学通信教育部) 昭51.5
- 1562 『文明論之概略』101年 UP(東京大学出版会) 43号 昭51.5

<6月>

- 1563 一流の思想家—福沢諭吉がいつまでたっても古くならないのはなぜか 羽仁五郎 文芸春秋 昭51.6 特別号
- 1564 『動物園の歴史—日本における動物園の成立』 佐々木時雄 西田書店 昭51.6 (1

章「動物園という言葉」のうち1, 2, 3, 4は福沢を中心に書いてある)

<7月>

- 1565 福沢諭吉と平等 松浦正夫 慶應義塾高等学校紀要 第7号 昭51.7

<8月>

- 1566 英訳福沢諭吉著訳集（第一回分）Preface to the Collected Works of Fukuzawa tr.
by Eiichi Kiyooka 清岡暎一 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1567 ある儒者の転身—吉田賢輔の場合 由良君美 国文学 21巻10号 昭51.8
- 1568 緒方洪庵と福沢諭吉 緒方富雄 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1569 中村敬宇と福沢諭吉 石田雄 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1570 『日本憲法史』（法律学教材） 筒井若水・佐藤幸治・坂野潤治・長尾龍一 東京大学
出版会 昭51.8 （福沢諭吉『帝室論』の抄録）
- 1571 「福翁自伝」はいかに読まれてきたか—山路愛山から佐伯彰一まで 伊藤正雄 福沢諭
吉年鑑 3 昭51.8
- 1572 福沢先生家庭教育論 渡辺徳三郎 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1573 福沢の帰省と新学校の創設（その1）新資料の紹介と考証 多田建次 福沢諭吉年鑑
3 昭51.8
- 1574 福沢の悲劇 中山一義 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1575 福沢諭吉研究関係文献目録—原則として昭和50年中の文献資料 昆野和七 福沢諭吉年
鑑 3 昭51.8
- 1576 福沢諭吉と富田鉄之助 吉野俊彦 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1577 福沢諭吉の著訳書原拠本について 太田臨一郎 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1578 福沢諭吉・朴泳孝・梁啓超の新民論—東アジア近代思想の相互関連性 青木功一 福沢
諭吉年鑑 3 昭51.8
- 1579 文明開化の風俗いきいき 吉野俊彦『クララの明治日記』 東京朝日 昭51.8.2日付
（海舟・福沢諭吉も登場—「内側」から見た立派さ）
- 1580 『文明論之概略』100年 遠山茂樹 福沢諭吉年鑑 3 昭51.8

<9月>

- 1581 実学を徹底させた福沢精神 佐志伝 流動 昭51.9 特別増大号
- 1582 『明治の群像 1』—海を火輪を（NHKテレビ放映の原作） 江藤淳 新潮社 昭
51.9 目次：（エッセイ）福沢諭吉と明治十四年の政変、鹿鳴館の舞踏会の手帖
（戯曲）大隈重信・明治十四年の政変（この戯曲には福沢も登場）（座談会）明治
の日本および日本人（ここでも福沢が登場）

<10月>

- 1583 塾の歴史・その十二の断面（第一回）模索する草創期の十年 土橋俊一 慶應キャンパ
ス 昭51.10.1付（連載）
- 1584 『福沢諭吉』 桑原三郎著 遠竹弘幸絵 文研出版 1976.10 158P 23cm（文研の

伝記 10) 730円

1585 明六社考 大久保利謙 立体社 昭51.10 1800円

<11月>

1586 教育の独立と国際化 永井道雄 三田評論 764号 昭51.11

1587 『戦中と戦後の間』 丸山真男著 みすず書房 1976.11 2000円 (「福沢諭吉の儒教批判」「福沢に於ける秩序と人間」「福沢諭吉」等所収)

1588 『中国の近代化と明治維新』 彭沢周 同明会 昭51.11 (「経済思想から見た福沢諭吉と康有為」所収)

1589 『福翁自伝』 (本との出会い) 岩村忍 日本経済新聞 昭51.11.21付

1590 『福沢諭吉』 ひろたまさき他 朝日新聞社 昭51.11 1200円

1977年 (昭和52)

1591 完全復刻版『明治経営名著集』 (全八巻) ダイヤモンド社 昭52 (『福翁百話・百余話』 (解説) 由井常彦 収録)

1592 『少年少女世界伝記全集』 4 福沢諭吉 桜井信夫文 主婦の友社 1977 161 P 22 cm

1593 『西洋事情』と福沢諭吉の経済思想—チェンバーズの経済書と福沢諭吉の思想形成 飯田鼎 三田学会雑誌 71巻5号 昭52

1594 『日本人のアメリカ論』 亀井俊介編・解説 研究社 1977 (アメリカ古典文庫23) (『福翁自伝』—始めて亜米利加に渡る, 『世界国尽』—北亜米利加) 収録

1595 『福沢先生と法律』 第百四十二回福沢先生誕生記念会講演 手塚豊 慶應義塾大学 昭52

<1月>

1596 脱亜論と歴史研究—田中華一郎「慶應義塾と史学研究」の解説にかえて 佐藤正幸 史学 48巻1号 昭52.1

1597 中国における福沢諭吉研究—主として李永熾の『福沢諭吉社会思想之研究』について 佐藤一郎 史学 48巻1号 昭52.1

<2月>

1598 『少年版福翁自伝 近代日本の先駆者・福沢諭吉』 上笙一郎編・著 永井潔絵 岩崎書店 1977.2 195 P 22cm (岩崎少年文庫)

1599 明治国家の思想としての「文明開化の特権」について 田中明 三田学会雑誌 70巻1号 昭52.2

<3月>

1600 “政治”と福沢諭吉 会田倉吉 『明治法政史・政治史の諸問題』 (手塚豊教授退職記念論文集) 昭52.3

1601 祖父諭吉の墓 福沢時太郎 福沢手帖 12号 昭52.3

- 1602 寺まちがい 富田正文 福沢手帖 12号 昭52. 3
1603 豊橋の福沢展を観る—新資料紹介 富田正文 福沢手帖 13号 昭52. 3
1604 中津市学校之記—新資料紹介 多田建次 福沢手帖 12号 昭52. 3
1605 福沢先生と名古屋—会田倉吉氏を偲びて 土橋俊一 福沢手帖 12号 昭52. 3
1606 福沢諭吉江戸地図—前期鉄砲洲のころ 伊東弥之助 福沢手帖 12号 昭52. 3
1607 福沢諭吉の家族論—国内社会の秩序形成と家族道德との関係 中江和恵 東京都立大学
人文学報 121号 昭52. 3

<4月>

- 1608 自由民権期の交詢社名簿 後藤靖 立命館大学人文科学研究紀要 24号 1977. 4
1609 適塾解体修理工事の開始にさいして—適塾現地保存の目指すもの 梅溪昇 学士会会報
735号 昭52. 4
1610 百年前の日本—福沢諭吉と田口卯吉 村田為五郎 学士会会報 735号 昭52. 4
1611 三田評論〈特集〉 769号 昭52. 4月○福沢先生と法律〈第142回福沢先生誕生記念会
講演〉 手塚豊 ○時事新報と板倉卓造—聴きとりを中心として 内川芳美 ○福沢
諭吉の対外観に関する覚書—「時事新報」創刊に至るまでを中心として 青木功一
1612 明治二年の出版条例成立の意義—福沢諭吉研究の一部として 長尾政憲 法政史学 29
号 昭52. 4

<5月>

- 1613 『西郷隆盛』— 福沢諭吉の証言 坂元盛秋著 新人物往来社 1977. 5 298 P 20cm
1614 『福沢先生書入れのミルの「功利論」』（塾の稀観書） 太田臨一郎 三色旗 350号
昭52. 5

<6月>

- 1615 『三田の暦日』 土橋俊一著 文化総合出版 昭52. 6 2500円（「福沢諭吉と版權」
「会議弁の刊行について」他六編収録）

<8月>

- 1616 善福寺に移った福沢墓所 富田正文 塾友 昭52. 8
1617 福沢諭吉と西郷隆盛—『丁丑公論』起草百年に因んで 富田正文 三田評論 昭52. 8・
9 合併号

<9月>

- 1618 伊東玄得宛福沢書簡—新資料紹介 丸山信 福沢手帖 13号 昭52. 9
1619 古典からどう学ぶか—ある読書会の開講のことば 丸山真男 図書 昭52. 9
1620 福沢家の墓地移転について 富田正文 福沢手帖 13号 昭52. 9
1621 福沢研究文献紹介（連載） 昆野和七 福沢手帖 13, 14号 昭52. 9~11
1622 三宅・滝山・福沢と父堀江帰—「二枚の絵との出会い」を読んで 堀江乙雄 福沢手帖
13号 昭52. 9

<10月>

- 1623 『明治・思想の実像』 坂野潤吉 創文社 昭52.10 (序説, 第四章(結論)で福沢に言及, 特に第1節, 第2節では福沢の朝鮮改造論と脱亜論を詳論)
- 1624 『明治文学全集』46 筑摩書房 1977.10 470P 23cm (内容: 福沢諭吉と新島襄君 徳富蘆峰)

<11月>

- 1625 英訳福沢諭吉著訳書(第二回分) Preface to the Collected Works of Fukuzawa by Eiichi Kiyooka 清岡暎一 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1626 緒方塾以来の旧友・松岡勇記について—新資料・福沢書簡紹介 石川博道 福沢手帖 14号 昭52.11
- 1627 経済思想から見た福沢諭吉と康有為 彭沢周 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1628 「政治」と福沢諭吉 会田倉吉 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1629 西南戦争と慶應義塾 丸山信 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1630 創刊年の「時事新報」に見る複眼的対外観—明治15年3月~12月の主要外報記事より 青木功一 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1631 肥田玄次郎宛, 浜野定四郎宛福沢書簡—新資料 富田正文 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1632 福沢の帰省と新学校の創設(その2) 多田建次 大分県教育制度創設期における福沢路線と学制路線の相剋をめぐって 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1633 福沢諭吉研究関係文献目録—原則として昭和51年中の文献資料 昆野和七 福沢諭吉年鑑 4 福沢諭吉協会 昭52.11
- 1634 福沢諭吉と堺利彦—婦人解放と「瘦せ我慢」の思想を中心として 飯田鼎 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1635 福沢諭吉と『時事新報』の科学報道 本田一二 専修大学論集 44号 1977.11
- 1636 福沢諭吉と自由の概念 多田顕 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1637 福沢諭吉と聖書 都田恒太郎 福沢手帖 14号 昭52.11
- 1638 福沢諭吉と巡歴 山口一夫 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11
- 1639 福沢諭吉の歴史哲学 神山四郎 福沢諭吉年鑑 4 昭52.11

<12月>

- 1640 世界國尽 桑原三郎 仔馬(慶應義塾幼稚舎) 29巻4号 昭52.12
- 1641 福沢諭吉における「人権」および「政権」に関する一考察 松岡浩 法学研究 50巻12号 昭52.12

1978年(昭和53)

- 1642 『会田倉吉著述目録 福沢諭吉・慶應義塾史研究書誌』 慶應義塾塾監局塾史資料室編 慶應義塾塾監局塾史資料室 1978 25P 21cm (塾史資料室文献シリーズ1)
- 1643 近代日本教育の記録(上) 浜田陽太郎・石川松太郎・寺崎昌男編 日本放送出版協会刊 昭53 (これに石川松太郎「福沢諭吉」を収む)

<1月>

- 1644 福沢研究文献紹介（連載） 昆野和七 福沢手帖 15～18号 昭53. 1～11
 1645 福沢諭吉暗殺未遂者としての増田宋太郎 松下竜一 福沢手帖 15号 昭53. 1
 1646 プレジデント（プレジデント社） 第16巻第1号 昭53. 1（特集・明治の〈実業家〉
 群像の中に青沼吉松「明治のビジネススクール・慶應義塾と福沢人脈」を収録

<2月>

- 1647 『慶應義塾豆百科』 会田倉吉著 慶應義塾 昭53. 2（福沢記念選書21）
 1648 『脱亜論』の源流—「時事新報」創刊年に至る福沢諭吉のアジア観と欧米観 青木功一
 慶應義塾大学新聞研究所年報 第11号 昭53. 2
 1649 『適塾をめぐる人々』—蘭学の流れ 伴忠康 創元社 1978. 2（緒方洪庵の高弟と
 して福沢は随所に登場）
 1650 長岡洋学校小史—教員藤野善蔵と新潟学校への統合をめぐる 多田建次 玉川女子短
 期大学紀要 第5号 昭53. 2
 1651 「歴史公論」 第4巻2号 雄山閣 昭53. 2 座談会「文明開化と近代」小西四郎，
 前田愛，飛鳥井雅道 対談・脱亜入欧の風俗と思想—文明開化の起動力 神島二郎，
 芳賀登

<3月>

- 1652 前期新銭座住居のころ—福沢諭吉江戸地図(2) 伊東弥之助 福沢手帖 16号 昭53. 3
 1653 中村道太と福沢諭吉 小山伝三 福沢手帖 16号 昭53. 3
 1654 新潟県会議事堂について 関建世 県政記念館 創刊号 昭53. 3（福沢に言及）
 1655 『幕末明治洋学史』 中谷一正（摂州三田藩の洋学を詳述。中に「福沢諭吉と九鬼隆
 義公」「三田藩の洋学と福沢精神」等々の章説あり） 限定出版 昭53
 1656 福沢諭吉と交詢社の設立 昆野義平 福沢手帖 16号 昭53. 3
 1657 レオン・ド・ロニー年譜及び著作目録ノート—その生年より明治6年（1837～1873）愛
 知教育大学研究報告 27（人文社会科学） March 1978（昭53. 4）

<4月>

- 1658 パリでの福沢 松原秀一 塾（慶應義塾刊） 16巻2号 昭53. 4
 1659 福沢先生と北里先生（第143回福沢先生誕生記念会講演筆記） 長木大三 三田評論
 昭53. 4
 1660 福沢先生とマルクス—図書館こぼれ話 太田臨一郎 慶應義塾大学報 13巻1号 昭
 53. 4

<6月>

- 1661 『資料日本英学史2』（英語教育論争史） 川澄哲夫編 鈴木孝夫監修 大修館 1978.
 6（「福沢諭吉とその周辺」を収む）
 1662 「福沢諭吉と三つの夢」—東京慶應倶楽部での講演 土橋俊一 福沢手帖 17号 昭
 53. 6

- 1663 福沢諭吉のバイブル 土肥次郎 福沢手帖 17号 昭53. 6
- 1664 松岡勇記の出自について(1) 石川博道 福沢手帖 17号 昭53. 6
- <7月>
- 1665 『福沢屋諭吉』 丸山信 日本古書通信社 昭53. 7 92頁 (古通豆本34)
- 1666 福沢諭吉とジャーナリズム 春原昭彦 歴史読本 (人物往来社) 昭53. 7
- <9月>
- 1667 福沢諭吉の聖書の読み方 玉木徳七 道標 (経堂 緑岡協会壮年会) 6号 1978. 9
- <10月>
- 1668 書籍商・福沢屋諭吉 丸山信 本の周辺 (新生社) 第12号 昭53.10
- 1669 『西洋事情』と福沢諭吉の政治経済思想—チェンバーズの経済書と福沢諭吉の思想形成
飯田鼎 三田学会雑誌 第71巻5号 1978.10
- 1670 福沢諭吉評価をめぐる若干の問題 正田庄次郎 三田学会雑誌 (慶應義塾経済学会)
第71巻5号 1978. 10
- <11月>
- 1671 慶應義塾ノ健康—新資料紹介 丸山信 福沢手帖 18号 昭53.11
- 1672 考証・天は人の上に人を造らず (ルーツを探る) 土橋俊一 税大通信 (税務大学校
刊) 第147号) 1978.11
- 1673 世界国尽 桑原三郎 福沢諭吉年鑑 5 昭53.11 781103
- 1674 福沢の帰省と新学校の創設 (その3) —大分県教育制度創設期における福沢路線と学制
路線の相剋をめぐる 多田建次 福沢諭吉年鑑 5 昭53.11
- 1675 福沢屋諭吉 丸山信 福沢諭吉年鑑 5 昭53.11
- 1676 『福沢諭吉』 — 人と歴史 高橋昌郎 清水書院 昭53.11
- 1677 福沢諭吉研究関係文献目録—原則として昭和52年中の文献資料 昆野和七 福沢諭吉年
鑑 5 福沢諭吉協会 昭53.11
- 1678 福沢諭吉と大隈重信—明治憲法と時事新報を中心として 清水伸 福沢諭吉年鑑 5
昭53.11
- 1679 福沢諭吉と海軍 野村英一 福沢諭吉年鑑 5 昭53.11
- 1680 福沢諭吉とJ. S. ミル『女性の隷従』 安西敏三 福沢諭吉年鑑 5 昭53.11
- 1681 福沢諭吉と「時事新報」の科学報道 本田一二 福沢諭吉年鑑 5 昭53.11
- <12月>
- 1682 福沢諭吉の保健体育思想に見られる身体観 高須賀尚代 新体育 48巻13号 1978.12

1979年 (昭和54)

<1月>

- 1683 スペンサーの訳書二つ 遠山茂樹 横浜市立大学論叢人文科学系列 第30巻IIIII合併号
1979. 1

- 1684 福沢先生と子供の本（福沢諭吉協会第16回土曜セミナーにおける講演） 桑原三郎 福沢手帖 19号 昭54. 1
 - 1685 福沢屋諭吉に関する小考 伊東弥之助 福沢手帖 19号 昭54. 1
 - 1686 福沢諭吉の聖書の読み方 玉木徳七 福沢手帖 19号 昭54. 1
- 〈2月〉
- 1687 『近代日本の思想』(1)佐久間象山・福沢諭吉・植木枝盛 有斐閣新書 昭54. 2 （前坊洋「福沢諭吉—演戯する個性」を収む）
 - 1688 福沢の手記による慶応義塾史（英訳） 第1巻 清岡暎一 北星堂 昭54. 2（A History of Keio Gijuku through the Writings of Fukuzawa）1000円
 - 1689 『ふくざわゆきち物語』—べんきょうがたいせつ さくらのぶおぶん たきはらしゅうすけえ あすなる書房 1979. 2 98P 23cm（あすなる版・世界伝記えぶんこ）850円
- 〈3月〉
- 1690 アダム・スミス『道徳感情論』における「理性」批判について 正田庄次郎 北里大学教養部紀要 13号 1979. 3
 - 1691 木戸孝允日記の中の福沢諭吉 三島新吉 福沢手帖 20号 昭54. 3
 - 1692 「脱亜論」 北岡伸一 歴史と地理 282号 1979. 3（福沢の時事新報論説「脱亜論」新聞紙掲載のものを写真版で複写して、それに解説を加えた）
 - 1693 藩学養賢堂洋書目録—慶應三年福沢諭吉将来本 早稲田大学図書館紀要 第12号 昭54. 3 （養賢堂とは仙台の藩の藩学で、洋書目録とは福沢が第三回外遊のとき藩の重役から依頼されてアメリカから将来した洋書の目録）
 - 1694 福沢研究文献紹介（連載） 昆野和七 福沢手帖 20号～23号 昭54. 3～12
 - 1695 福沢の新資料書簡二通—小田部礼，服部鐘宛 丸山信 福沢手帖 20号 昭54. 3
 - 1696 福沢諭吉—その人間的一側面について〈日本学士院創立百年記念特集〉 岡義武 日本学士院 昭54. 3
 - 1697 福沢諭吉の宗教観—令孫清岡暎一氏に聴く 松岡正夫 福沢手帖 20号 昭54. 3
 - 1698 雪池 慶應義塾高等学校福沢研究会編 4号 昭54. 3 ○『雪池』第4号に当って 佐志伝 福沢諭吉の思想—西洋文明の理解と摂取の方法 高橋誠 福沢と独立自尊について思うこと 2年外村達也 近代日本の先覚者福沢諭吉 2年原歩 福沢諭吉のパーソナリティーの形成期 2年岩波均 福沢研13年の歩 会長佐志伝ほか
 - 1699 和歌山県下かつらき町の新資料について—明治初期塾生日記と福沢諭吉書簡 梅溪昇 福沢手帖 20号 昭54. 3
- 〈4月〉
- 1700 『福沢革命』 高野善一を遺す会編 第三文明社 昭54. 4 （高野善一遺著）
 - 1701 「三田評論」 昭54. 4 〈特集〉○講演会筆記 大久保利謙 東京学士院の創設と福沢諭吉（福沢協会第十八回土曜セミナー講演），河北展生 草創期の慶應義塾と中津藩

士の入門（第百四十四回福沢先生誕生記念会記念講演），家永三郎 随想『自伝と百話』，ヨゼフ・ピタウ 凡庸と卑屈への抵抗，芳賀徹『福翁自伝』から『西航手帖』へ，飯沢匡「笑いを通じて—福沢先生のユーモア」

<5月>

- 1702 『5年の学習・五月教材』 34巻2号 学習研究社 1979.5 「日本に動物園を紹介した福沢諭吉」所収
- 1703 『日本近代教育の思想構造』—福沢諭吉の教育思想研究 増補版 安川寿之著 新評論 1979.5 470P 22cm
- 1704 『福沢諭吉』一人と学説 高橋誠一郎 長崎出版社 1979.5 1500円（原著は，高橋誠一郎『福沢諭吉』—日本の経済学者・人と学説 実業之日本社版 昭22.4）
- 1705 『福沢諭吉の思想形成』 今永清二 勁草書房 昭54.5
- 1706 北海道と福沢諭吉 佐藤林平 慶應義塾経済学部「日吉論文集」 24号 昭54.4

<6月>

- 1707 慶應義塾後期鉄砲洲時代の意義 河北展生 史学 49巻2, 3号 昭54.6
- 1708 薩摩屋敷焼打と福沢諭吉 俵元昭 港区の歴史 名著出版社 昭54.6 （東京ふるさと文庫 18）
- 1709 史料に見る中村諭吉と福沢諭吉の家録 松崎欣一 福沢手帖 21号 昭54.6
- 1710 『人力車』 齊藤俊彦 産業技術センター 昭54.6（第3章第一部「発明者はだれか」に「福沢諭吉の乳母車」所収）
- 1711 福沢諭吉とヨーロッパ旅行 松原秀一 福沢手帖 21号 昭54.6
- 1712 福沢諭吉名義の通行手形 岡田昭二 福沢手帖 21号 昭54.6
- 1713 復刻叢書『簿記ことはじめ』(一) ブライヤント・ストラットン共著 雄松堂書店 昭54.6（写真版） 福沢諭吉訳 『帳会之法』（全四冊合本一冊）
- 1714 和紙問屋加島屋のこと 日野光雄 福沢手帖 21号 昭54.6

<7月>

- 1715 『疾風の人』—ある草莽伝 松下竜一著 朝日新聞社 昭54.7 1300円（福沢の従弟増田宋郎の生涯を小説風に書いた伝記 福沢諭吉との関連についての記述が多く含まれている）
- 1716 草創期の慶應義塾と中津藩士の入門 河北展生 （福沢記念選書24） 昭54.7
- 1717 幕末維新期における小田原藩士の遊学（小田原教育小史4） 高田稔 小田原地方史研究（小田原地方史研究会） 昭54.7
- 1718 『引かれ者の小唄』—続・ごまめの歯ざしり 伊藤正雄著 春秋社 昭54.7（『学問のすゝめ』の文学性ほか福沢に言及するものが多く含まれている）
- 1719 『福沢諭吉』—警世の文学精神 伊藤正雄著 春秋社 昭54.7 1300円（伊藤正雄遺書）目次—『学問のすゝめ』の文学性 『文字之教』の功績 『文明論之概略』に学ぶもの 福沢の皇室論 『福翁百話』に見る福沢晩年の思想 『福翁百話』余録ほか

7点

- 1720 『諭吉 小波 未明』— 明治の児童文学 桑原三郎著 慶應通信 昭54. 7

<8月>

- 1721 『近代の洋学と海外交渉』 岩生成一 巖南堂書店 1979. 8 38P 22cm（内容：福沢諭吉の政治思想形成過程についての一考察—文久渡欧との関連として 長尾政憲）
- 1722 『福沢諭吉』— 民主主義の父 伏見伸一著 日本書房 1979. 8 24P 19cm（小学文庫） 340円

<9月>

- 1723 「いろは新聞」への寄稿その他—新資料紹介 西田長寿 福沢手帖 22号 昭54. 9
（『福沢全集』に収められていない文章、仮名垣魯文の社長となっていた「いろは新聞」である）
- 1724 草創期の慶應義塾と長岡藩士 丸山信 福沢手帖 22号 昭54. 9
- 1725 『福翁自伝』の英訳のあれこれ 清岡暎一 福沢手帖 22号 昭54. 9
- 1726 福沢諭吉と渋沢栄一思想について—特に儒教を巡って 多田頭 千葉大学教養部研究報告 A—12 1979. 9
- 1727 和辻哲郎の福沢観 勝部真長 福沢手帖 22号 昭54. 9

<10月>

- 1728 「時事新報」論説の対清論調(一)—創刊より明治十八年末まで 青木功一 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10
- 1729 酒豪福沢諭吉と高橋是清 王丸勇 日本医事新報（週報）（日本医事新報社） 2393号 昭54.10. 6
- 1730 西南戦争前後の窮状と脱出の経緯—慶應義塾存廃の危機の分析 中山一義 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10
- 1731 「西洋事情」と福沢諭吉の政治経済思想—チェンバーズの経済書と福沢諭吉の思想形成 飯田鼎 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10
- 1732 中西美恵蔵宛一通、葦原雅亮宛一通—福沢書簡 富田正文 福沢諭吉年鑑 6 昭54. 10
- 1733 福沢諭吉研究関係文献目録—原則として昭和53年中の文献資料 昆野和七 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10
- 1734 福沢諭吉と宇都宮三郎 小林惟司 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10
- 1735 福沢諭吉とA. D. トクヴィル「アメリカにおけるデモクラシー」序説 安西敏三 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10
- 1736 福沢諭吉とペテルブルグ 山口一夫 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10
- 1737 福沢諭吉評価をめぐる若干の問題 庄田庄次郎 福沢諭吉年鑑 6 昭54.10

<11月>

- 1738 『福沢諭吉』 鹿野政直著 平凡社 1979.11（日本文化の会編 日本を創った人びと

25) 1600円

〈12月〉

1739 中津風間 藤村潤一郎 福沢手帖 23号 昭54.12

1740 福沢先生とキリスト教 石井千明 福沢手帖 23号 昭54.12

1741 福沢諭吉と郷里中津について(1～3) 島通夫 耶馬台 通巻53・54・55号 昭54.
12, 昭55. 3, 昭55. 6

1742 『諭吉 小波 未明』— 明治の児童文学を読んで(桑原三郎著) 渡辺徳三郎 福沢
手帖 23号 昭54.12